

### (9) 今後、収入を得られる仕事につく意向(Q8)

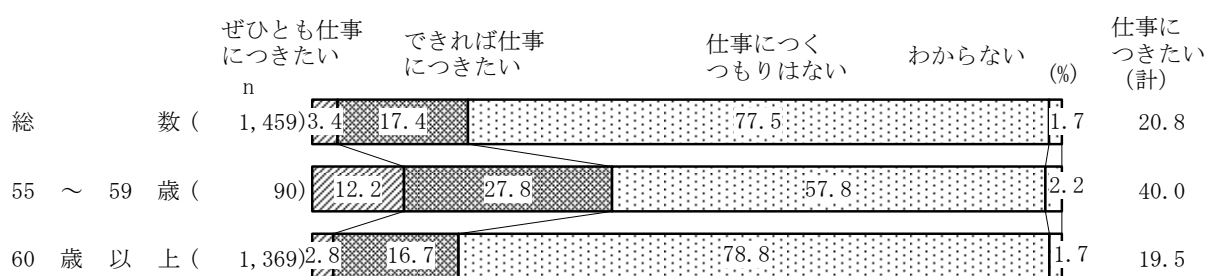
現在、収入のある仕事をしていない人に、「今後収入を得られる仕事につきたいと考えているか」尋ねてみると、総数では「ぜひとも仕事につきたい」が3.4%、「できれば仕事につきたい」が17.4%となっており、両方を合わせた『仕事につきたい(計)』が20.8%となっている。一方、「仕事につくつもりはない」は77.5%となっている。

55～59歳では「ぜひとも仕事につきたい」が12.2%、「できれば仕事につきたい」が27.8%となっており、両方を合わせた『仕事につきたい(計)』が40.0%となっている。一方、「仕事につくつもりはない」は57.8%となっている。

60歳以上では「ぜひとも仕事につきたい」が2.8%、「できれば仕事につきたい」が16.7%となっており、両方を合わせた『仕事につきたい(計)』が19.5%となっている。一方、「仕事につくつもりはない」は78.8%となっている。

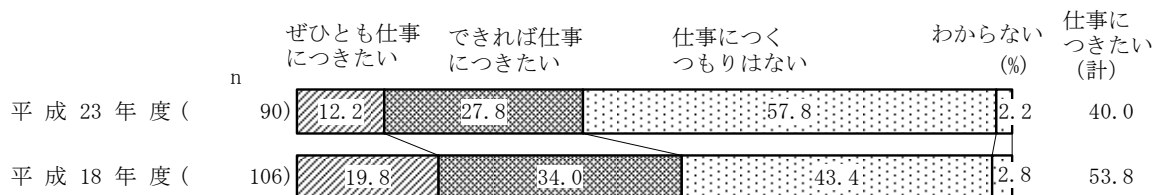
『仕事につきたい(計)』は、60歳以上と比べ、55～59歳で20.5ポイント高くなっている。

図2-9-1 今後、収入を得られる仕事につく意向(Q8)



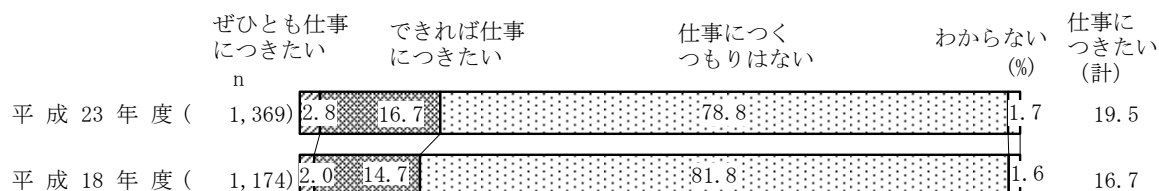
55～59歳を前回調査と比較すると、『仕事につきたい(計)』割合が13.8ポイント低下し、大きく減少している。

図2-9-2 今後、収入を得られる仕事につく意向(Q8)(前回比較、55～59歳)



60歳以上を前回調査と比較すると、『仕事につきたい(計)』割合がやや増加している。

図2-9-3 今後、収入を得られる仕事につく意向(Q8)(前回比較、60歳以上)



#### 〈総数〉（表2-9-1）

都市規模別にみると、「仕事につくつもりはない」は町村（84.2%）で高くなっている。性別にみると、『仕事につきたい（計）』は女性（17.4%）より男性（26.3%）で高くなっている。

年齢別にみると、『仕事につきたい（計）』は年齢が低くなるほど割合が高くなっている。60歳～64歳では35.2%を占め、65～74歳までも2割以上が『仕事につきたい（計）』と回答している。

健康状態別にみると、『仕事につきたい（計）』は健康状態が『良くない（計）』と答えた人（15.1%）より『良い（計）』と答えた人（23.8%）で高くなっている。

平均月収額別では、『仕事につきたい（計）』は収入が少ないほど割合が高くなる傾向がみられる。

現在の貯蓄額別でみると、『仕事につきたい（計）』は『300万円未満（計）貯蓄なし含む』（26.2%）で高く、『1,000万円以上（計）』（14.2%）で低くなっている。

#### 〈55～59歳〉（表2-9-2）

都市規模別、健康状態別、平均月収額別、現在の貯蓄額別については、該当数が少ないため、表の数値は参考値にとどめ、分析は控える。

性別にみると、『仕事につきたい（計）』は女性は39.0%になっている。

#### 〈60歳以上〉（表2-9-3）

都市規模別にみると、「仕事につくつもりはない」は町村（85.5%）で高くなっている。

性別にみると、『仕事につきたい（計）』は女性（15.3%）より男性（25.8%）で高くなっている。

健康状態別にみると、『仕事につきたい（計）』は健康状態が『良くない（計）』と答えた人（15.3%）より『良い（計）』と答えた人（22.2%）で高くなっている。

平均月収額別では、『仕事につきたい（計）』は収入が少ないほど割合が高くなる傾向がみられる。

現在の貯蓄額別でみると、『仕事につきたい（計）』は『300万円未満（計）貯蓄なし含む』（25.1%）で高く、『1,000万円以上（計）』（12.3%）で低くなっている。

表 2-9-1 今後、収入を得られる仕事につく意向 (Q8)

(%)

総 数	該当数	ぜひとも 仕事につ きたい	できれば 仕事につ きたい	仕事につ くつもり はない	わからな い	仕事につ きたい (計)
【 総 数 】	1,459	3.4	17.4	77.5	1.7	20.8
〔都市規模〕						
大都市	328	3.4	18.9	75.0	2.7	22.3
中都市	613	3.8	17.0	77.8	1.5	20.7
小都市	341	3.2	19.1	76.0	1.8	22.3
町村	177	2.3	13.0	84.2	0.6	15.3
〔性別〕						
男性	560	4.5	21.8	72.0	1.8	26.3
女性	899	2.7	14.7	81.0	1.7	17.4
〔年齢別〕						
55～59歳	90	12.2	27.8	57.8	2.2	40.0
60～64歳	244	7.0	28.3	62.3	2.5	35.2
65～69歳	284	3.2	20.4	75.4	1.1	23.6
70～74歳	329	2.4	20.1	75.4	2.1	22.5
75～79歳	287	1.0	8.4	89.2	1.4	9.4
80歳以上	225	0.4	5.3	92.9	1.3	5.8
60歳以上 (計)	1,369	2.8	16.7	78.8	1.7	19.5
〔健康状態〕						
良い	427	4.2	19.7	73.5	2.6	23.9
まあ良い	349	4.3	19.5	75.1	1.1	23.8
普通	351	2.0	17.4	79.2	1.4	19.4
あまり良くない	270	2.6	11.1	85.2	1.1	13.7
良くない	62	3.2	17.7	75.8	3.2	21.0
良い (計)	776	4.3	19.6	74.2	1.9	23.8
良くない (計)	332	2.7	12.3	83.4	1.5	15.1
Q13〔平均月収額〕						
5万円未満	25	12.0	16.0	72.0	-	28.0
5万円～10万円未満	123	4.1	21.1	73.2	1.6	25.2
10万円～15万円未満	206	3.4	18.4	77.7	0.5	21.8
15万円～20万円未満	227	3.5	18.9	76.2	1.3	22.5
20万円～25万円未満	291	1.4	15.5	81.4	1.7	16.8
25万円～30万円未満	220	4.5	15.5	78.6	1.4	20.0
30万円～40万円未満	127	2.4	17.3	78.7	1.6	19.7
40万円～60万円未満	82	1.2	18.3	76.8	3.7	19.5
60万円～80万円未満	17	-	17.6	82.4	-	17.6
80万円以上	9	-	22.2	77.8	-	22.2
収入はない	24	16.7	16.7	62.5	4.2	33.3
わからない	108	3.7	16.7	75.0	4.6	20.4
20万円未満 (計) 収入なし含む	605	4.5	19.0	75.4	1.2	23.5
20万円～30万円未満 (計)	511	2.7	15.5	80.2	1.6	18.2
30万円以上 (計)	235	1.7	17.9	78.3	2.1	19.6
Q23〔現在の貯蓄額〕						
100万円未満	123	5.7	19.5	74.0	0.8	25.2
100万円～200万円未満	83	3.6	22.9	73.5	-	26.5
200万円～300万円未満	94	2.1	21.3	76.6	-	23.4
300万円～500万円未満	98	4.1	22.4	70.4	3.1	26.5
500万円～700万円未満	96	2.1	19.8	77.1	1.0	21.9
700万円～1000万円未満	130	3.1	19.2	77.7	-	22.3
1000万円～2000万円未満	165	1.2	14.5	83.0	1.2	15.8
2000万円～3000万円未満	91	2.2	12.1	81.3	4.4	14.3
3000万円～5000万円未満	60	1.7	11.7	85.0	1.7	13.3
5000万円以上	43	2.3	7.0	90.7	-	9.3
貯蓄はない	162	9.3	19.1	68.5	3.1	28.4
わからない	314	1.9	15.6	79.9	2.5	17.5
300万円未満 (計) 貯蓄なし含む	462	5.8	20.3	72.5	1.3	26.2
300万円～1000万円未満 (計)	324	3.1	20.4	75.3	1.2	23.5
1000万円以上 (計)	359	1.7	12.5	83.8	1.9	14.2

表 2-9-2 今後、収入を得られる仕事につく意向 (Q8) (%)

55 ~ 59 歳	該当数	ぜひとも仕事につきたい	できれば仕事につきたい	仕事につくつもりはない	わからない	仕事につきたい(計)
【総数】	90	12.2	27.8	57.8	2.2	40.0
〔都市規模〕						
大都市	17	11.8	35.3	52.9	-	47.1
中都市	36	19.4	16.7	61.1	2.8	36.1
小都市	25	8.0	36.0	52.0	4.0	44.0
町村	12	-	33.3	66.7	-	33.3
〔性別〕						
男性	13	15.4	30.8	46.2	7.7	46.2
女性	77	11.7	27.3	59.7	1.3	39.0
〔健康状態〕						
良い	36	13.9	25.0	61.1	-	38.9
まあ良い	20	20.0	35.0	40.0	5.0	55.0
普通	23	8.7	34.8	52.2	4.3	43.5
あまり良くない	9	-	11.1	88.9	-	11.1
良くない	2	-	-	100.0	-	-
良い(計)	56	16.1	28.6	53.6	1.8	44.6
良くない(計)	11	-	9.1	90.9	-	9.1
Q13〔平均月収額〕						
5万円未満	2	50.0	50.0	-	-	100.0
5万円～10万円未満	8	-	25.0	75.0	-	25.0
10万円～15万円未満	11	-	27.3	72.7	-	27.3
15万円～20万円未満	11	18.2	27.3	54.5	-	45.5
20万円～25万円未満	7	14.3	-	85.7	-	14.3
25万円～30万円未満	14	28.6	14.3	57.1	-	42.9
30万円～40万円未満	6	16.7	83.3	-	-	100.0
40万円～60万円未満	9	-	44.4	55.6	-	44.4
60万円～80万円未満	3	-	-	100.0	-	-
80万円以上	4	-	25.0	75.0	-	25.0
収入はない	5	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0
わからない	10	10.0	30.0	50.0	10.0	40.0
20万円未満(計)収入なし含む	37	10.8	27.0	59.5	2.7	37.8
20万円～30万円未満(計)	21	23.8	9.5	66.7	-	33.3
30万円以上(計)	22	4.5	45.5	50.0	-	50.0
Q23〔現在の貯蓄額〕						
100万円未満	2	-	50.0	-	50.0	50.0
100万円～200万円未満	5	20.0	40.0	40.0	-	60.0
200万円～300万円未満	9	11.1	22.2	66.7	-	33.3
300万円～500万円未満	9	11.1	33.3	55.6	-	44.4
500万円～700万円未満	4	-	-	100.0	-	-
700万円～1000万円未満	6	-	16.7	83.3	-	16.7
1000万円～2000万円未満	17	11.8	29.4	58.8	-	41.2
2000万円～3000万円未満	4	25.0	-	75.0	-	25.0
3000万円～5000万円未満	3	-	66.7	33.3	-	66.7
5000万円以上	2	-	-	100.0	-	-
貯蓄はない	8	25.0	25.0	50.0	-	50.0
わからない	21	14.3	33.3	47.6	4.8	47.6
300万円未満(計)貯蓄なし含む	24	16.7	29.2	50.0	4.2	45.8
300万円～1000万円未満(計)	19	5.3	21.1	73.7	-	26.3
1000万円以上(計)	26	11.5	26.9	61.5	-	38.5

表 2-9-3 今後、収入を得られる仕事につく意向 (Q8) (%)

60 歳 以 上	該当数	ぜひとも 仕事につ きたい	できれば 仕事につ きたい	仕事につ くつもり はない	わからな い	仕事につ きたい (計)
総 数	1,369	2.8	16.7	78.8	1.7	19.5
〔都市規模〕						
大都市	311	2.9	18.0	76.2	2.9	20.9
中都市	577	2.8	17.0	78.9	1.4	19.8
小都市	316	2.8	17.7	77.8	1.6	20.6
町村	165	2.4	11.5	85.5	0.6	13.9
〔性別〕						
男性	547	4.2	21.6	72.6	1.6	25.8
女性	822	1.8	13.5	83.0	1.7	15.3
〔健康状態〕						
良い	391	3.3	19.2	74.7	2.8	22.5
まあ良い	329	3.3	18.5	77.2	0.9	21.9
普通	328	1.5	16.2	81.1	1.2	17.7
あまり良くない	261	2.7	11.1	85.1	1.1	13.8
良くない	60	3.3	18.3	75.0	3.3	21.7
良い (計)	720	3.3	18.9	75.8	1.9	22.2
良くない (計)	321	2.8	12.5	83.2	1.6	15.3
Q13〔平均月収額〕						
5万円未満	23	8.7	13.0	78.3	-	21.7
5万円～10万円未満	115	4.3	20.9	73.0	1.7	25.2
10万円～15万円未満	195	3.6	17.9	77.9	0.5	21.5
15万円～20万円未満	216	2.8	18.5	77.3	1.4	21.3
20万円～25万円未満	284	1.1	15.8	81.3	1.8	16.9
25万円～30万円未満	206	2.9	15.5	80.1	1.5	18.4
30万円～40万円未満	121	1.7	14.0	82.6	1.7	15.7
40万円～60万円未満	73	1.4	15.1	79.5	4.1	16.4
60万円～80万円未満	14	-	21.4	78.6	-	21.4
80万円以上	5	-	20.0	80.0	-	20.0
収入はない	19	15.8	15.8	68.4	-	31.6
わからない	98	3.1	15.3	77.6	4.1	18.4
20万円未満 (計) 収入なし含む	568	4.0	18.5	76.4	1.1	22.5
20万円～30万円未満 (計)	490	1.8	15.7	80.8	1.6	17.6
30万円以上 (計)	213	1.4	15.0	81.2	2.3	16.4
Q23〔現在の貯蓄額〕						
100万円未満	121	5.8	19.0	75.2	-	24.8
100万円～200万円未満	78	2.6	21.8	75.6	-	24.4
200万円～300万円未満	85	1.2	21.2	77.6	-	22.4
300万円～500万円未満	89	3.4	21.3	71.9	3.4	24.7
500万円～700万円未満	92	2.2	20.7	76.1	1.1	22.8
700万円～1000万円未満	124	3.2	19.4	77.4	-	22.6
1000万円～2000万円未満	148	-	12.8	85.8	1.4	12.8
2000万円～3000万円未満	87	1.1	12.6	81.6	4.6	13.8
3000万円～5000万円未満	57	1.8	8.8	87.7	1.8	10.5
5000万円以上	41	2.4	7.3	90.2	-	9.8
貯蓄はない	154	8.4	18.8	69.5	3.2	27.3
わからない	293	1.0	14.3	82.3	2.4	15.4
300万円未満 (計) 貯蓄なし含む	438	5.3	19.9	73.7	1.1	25.1
300万円～1000万円未満 (計)	305	3.0	20.3	75.4	1.3	23.3
1000万円以上 (計)	333	0.9	11.4	85.6	2.1	12.3

## (10) 仕事を選ぶ際に重視する条件(Q9)

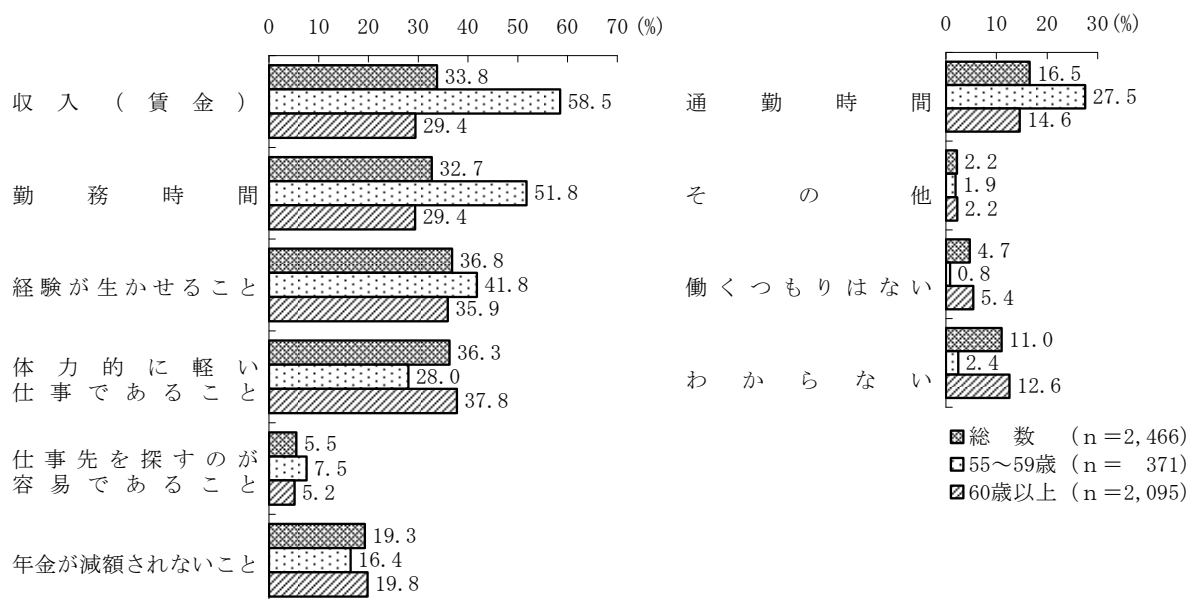
「仕事を選ぶに当たって、重視する条件」について尋ねてみると、総数では「経験が活かせること」が 36.8%と最も高くなっている。次いで「体力的に軽い仕事であること」が 36.3%、以下、「収入（賃金）」が 33.8%、「勤務時間」が 32.7%などの順になっている。

55～59 歳では「収入（賃金）」が 58.5%と最も高く、以下、「勤務時間」が 51.8%、「経験が活かせること」が 41.8%、「体力的に軽い仕事であること」が 28.0%などの順になっている。

60 歳以上では「体力的に軽い仕事であること」が 37.8%と最も高く、以下、「経験が活かせること」が 35.9%、「収入（賃金）」と「勤務時間」がともに 29.4%などの順になっている。

55～59 歳と 60 歳以上を比較すると、「収入（賃金）」「勤務時間」「通勤時間」は、55～59 歳が 60 歳以上を大きく上回っている。一方「体力的に軽い仕事であること」は 60 歳以上が 9.8 ポイント高くなっている。

図 2-10-1 仕事を選ぶ際に重視する条件(Q9) (複数回答)



#### 〈総数〉（表2-10-1）

性別にみると、「経験が生かせること」（男性 46.0%、女性 28.7%）、「収入（賃金）」（男性 40.4%、女性 27.9%）は女性より男性で、「体力的に軽い仕事であること」（男性 31.2%、女性 40.9%）、「勤務時間」（男性 28.0%、女性 37.0%）は男性より女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「経験が生かせること」は 60～64 歳(44.3%)、55～59 歳(41.8%)で高くなっている。また、「収入（賃金）」、「勤務時間」も年齢が低くなるほど割合が高くなっており、60～64 歳でみると、4 割以上が「経験が生かせること」、「収入（賃金）」、「勤務時間」をあげている。

現在の貯蓄額別でみると、「収入（賃金）」は『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（39.9%）で高く、『1,000 万円以上（計）』（28.4%）で低くなっている。一方、「経験が生かせること」は『1,000 万円以上（計）』（44.1%）で高く、『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（30.9%）で低くなっている。

#### 〈55～59 歳〉（表2-10-2）

性別にみると、「収入（賃金）」（男性 72.7%、女性 46.2%）、「経験が生かせること」（男性 45.9%、女性 38.2%）は女性より男性で、「勤務時間」（男性 41.3%、女性 60.8%）、「体力的に軽い仕事であること」（男性 17.4%、女性 37.2%）は男性より女性で、それぞれ高くなっている。

現在の貯蓄額別でみると、「収入（賃金）」は『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（71.7%）で高く、『1,000 万円以上（計）』（46.2%）で低くなっている。

#### 〈60 歳以上〉（表2-10-3）

性別にみると、「経験が生かせること」（男性 46.0%、女性 27.0%）、「収入（賃金）」（男性 34.7%、女性 24.6%）は女性より男性で、「勤務時間」（男性 25.7%、女性 32.7%）、「体力的に軽い仕事であること」（男性 33.5%、女性 41.5%）は男性より女性で、それぞれ高くなっている。

現在の貯蓄額別でみると、「収入（賃金）」は『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（33.6%）で高く、『1,000 万円以上（計）』（25.5%）で低くなっている。一方、「経験が生かせること」は『1,000 万円以上（計）』（43.4%）で高く、『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（28.6%）で低くなっている。





### (11) 仕事を選ぶ際に最も重視する条件(Q9)

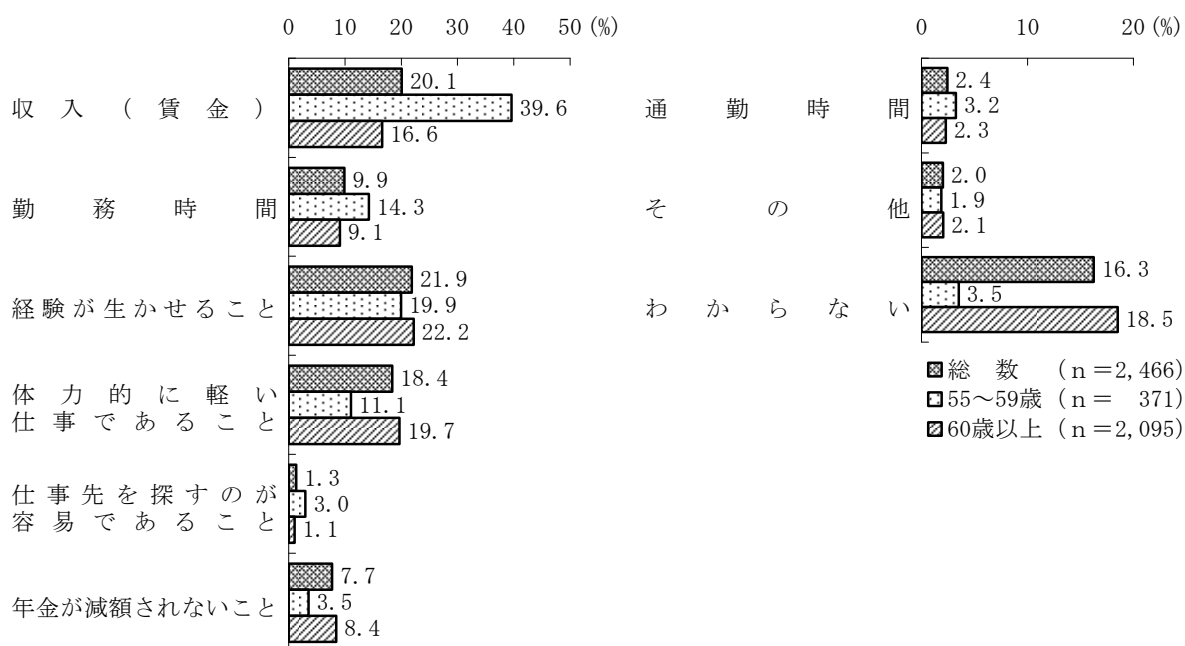
「仕事を選ぶに当たって、最も重視する条件」について尋ねてみると、総数では「経験が生かせること」が 21.9%と最も高くなっている。次いで「収入（賃金）」が 20.1%、以下、「体力的に軽い仕事であること」が 18.4%、「勤務時間」が 9.9%などの順になっている。

55～59 歳では「収入（賃金）」が 39.6%と最も高く、以下、「経験が生かせること」が 19.9%、「勤務時間」が 14.3%、「体力的に軽い仕事であること」が 11.1%などの順になっている。

60 歳以上では「経験が生かせること」が 22.2%と最も高く、以下、「体力的に軽い仕事であること」が 19.7%、「収入（賃金）」が 16.6%、「勤務時間」が 9.1%などの順になっている。

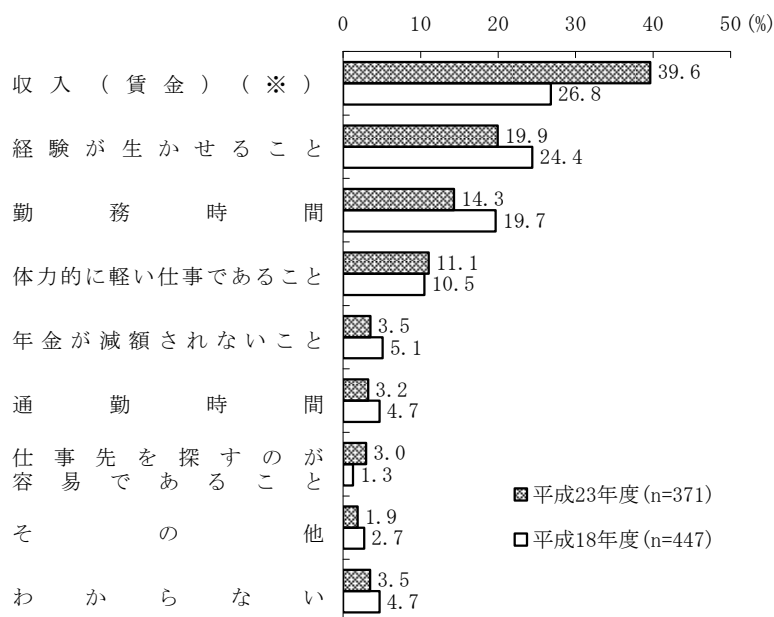
「収入（賃金）」は 60 歳以上では 3 番目に高くなっているが、55～59 歳では最も高く、その差は 23.0 ポイントとなっている。

図 2-11-1 仕事を選ぶ際に最も重視する条件(Q9)



55～59 歳を前回調査と比較すると、「収入（賃金）」の割合が 12.8 ポイント増加しているのが目立つ。一方、「経験が生かせること」、「勤務時間」の割合は減少している。

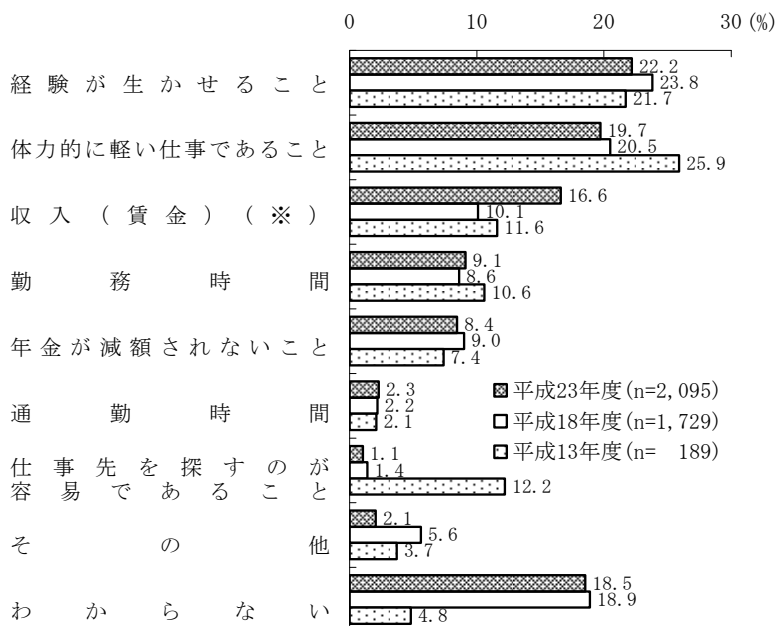
図 2-11-2 仕事を選ぶ際に最も重視する条件（Q9）（前回比較、55～59 歳）



（※）平成 18 年度、平成 13 年度は「賃金」

60 歳以上を前回調査と比較すると、「収入（賃金）」の割合が 6.5 ポイント増加しているのが目立つ。なお、平成 13 年調査は回答対象が異なり厳密な比較はできないため、参考値の掲載にとどめ分析は控える。

図 2-11-3 仕事を選ぶ際に最も重視する条件（Q9）（時系列比較、60 歳以上）



（注）平成 13 年度調査は「仕事をしていないものに、働くために最も必要な条件を聞いている」

（※）平成 18 年度、平成 13 年度は「賃金」

#### 〈総 数〉（表 2-11-1）

性別にみると、「経験が生かせること」（男性 26.6%、女性 17.6%）、「収入（賃金）」（男性 26.5%、女性 14.3%）は女性より男性で、「体力的に軽い仕事であること」（男性 14.0%、女性 22.3%）、「勤務時間」（男性 6.5%、女性 13.0%）は男性より女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「収入（賃金）」は年齢が低くなるほど割合が高くなっており、60～64 歳では 25.7%を占めている。「経験が生かせること」は 60～74 歳では 25%前後が回答している。一方、「体力的に軽い仕事であること」は年齢が高くなるほど割合も高くなっている。

現在の貯蓄額別でみると、「収入（賃金）」は『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（28.1%）で高く、『1,000 万円以上（計）』（14.3%）で低くなっている。一方、「経験が生かせること」は『1,000 万円以上（計）』（28.6%）で高く、『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（15.6%）で低くなっている。

#### 〈55～59 歳〉（表 2-11-2）

性別にみると、「収入（賃金）」（男性 59.9%、女性 22.1%）は女性より男性で、「勤務時間」（男性 4.1%、女性 23.1%）、「体力的に軽い仕事であること」（男性 3.5%、女性 17.6%）は男性より女性で、それぞれ高くなっている。

現在の貯蓄額別でみると、「収入（賃金）」は『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（52.8%）で高く、『1,000 万円以上（計）』（29.7%）で低くなっている。一方、「経験が生かせること」は『1,000 万円以上（計）』（26.4%）で高くなっている。

#### 〈60 歳以上〉（表 2-11-3）

性別にみると、「経験が生かせること」（男性 28.3%、女性 16.7%）、「収入（賃金）」（男性 20.7%、女性 12.9%）は女性より男性で、「体力的に軽い仕事であること」（男性 15.9%、女性 23.2%）、「勤務時間」（男性 6.9%、女性 11.1%）は男性より女性で、それぞれ高くなっている。

現在の貯蓄額別でみると、「収入（賃金）」は『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（23.2%）で高く、『1,000 万円以上（計）』（11.7%）で低くなっている。一方、「経験が生かせること」は『1,000 万円以上（計）』（28.9%）で高く、『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（14.9%）で低くなっている。

表2-11-1 仕事を選ぶ際に最も重視する条件(Q9) (%)

総数	総数	収入 (賃金)	勤務時間	経験が生 かせるこ と	体力的に 軽い仕事 であるこ と	仕事を 探るのが 容易であ ること	年金が減 額されな いこと	通勤時間	その他	わからな い
【総数】	2,466	20.1	9.9	21.9	18.4	1.3	7.7	2.4	2.0	16.3
〔性別〕										
男性	1,162	26.5	6.5	26.6	14.0	1.5	7.8	0.9	2.2	13.9
女性	1,304	14.3	13.0	17.6	22.3	1.2	7.6	3.8	1.8	18.4
〔年齢別〕										
55～59歳	371	39.6	14.3	19.9	11.1	3.0	3.5	3.2	1.9	3.5
60～64歳	584	25.7	14.4	24.3	14.6	0.9	7.9	3.4	2.1	6.8
65～69歳	483	17.0	10.4	25.9	19.3	1.0	8.5	2.3	1.9	13.9
70～74歳	435	13.1	6.0	23.4	23.4	0.9	9.0	2.3	1.8	20.0
75～79歳	343	10.8	6.1	16.3	25.1	1.2	9.0	0.6	1.7	29.2
80歳以上	250	8.8	4.0	16.0	18.8	1.6	8.0	2.0	3.2	37.6
60歳以上(計)	2,095	16.6	9.1	22.2	19.7	1.1	8.4	2.3	2.1	18.5
Q23〔現在の貯蓄額〕										
100万円未満	223	34.5	5.8	13.5	14.8	1.3	6.3	4.5	3.6	15.7
100万円～200万円未満	132	25.0	11.4	20.5	15.9	-	8.3	1.5	1.5	15.9
200万円～300万円未満	168	28.0	8.3	15.5	23.8	2.4	6.5	0.6	2.4	12.5
300万円～500万円未満	179	22.3	11.7	20.1	16.8	2.2	9.5	3.4	3.4	10.6
500万円～700万円未満	162	17.3	7.4	25.9	18.5	1.2	8.0	1.2	2.5	17.9
700万円～1000万円未満	199	17.6	13.1	21.1	20.6	2.0	8.5	2.0	1.5	13.6
1000万円～2000万円未満	273	19.8	10.6	24.2	20.1	-	9.5	1.8	0.7	13.2
2000万円～3000万円未満	169	9.5	10.1	29.0	20.7	1.2	11.8	3.0	1.8	13.0
3000万円～5000万円未満	99	11.1	18.2	30.3	18.2	1.0	7.1	4.0	1.0	9.1
5000万円以上	96	10.4	9.4	38.5	8.3	-	5.2	4.2	4.2	19.8
貯蓄はない	241	24.1	7.1	14.9	19.1	1.7	6.6	2.9	2.1	21.6
わからない	525	16.4	10.1	22.5	18.5	1.7	6.3	1.9	1.5	21.1
300万円未満(計)貯蓄なし含む	764	28.1	7.7	15.6	18.3	1.4	6.8	2.6	2.5	16.9
300万円～1000万円未満(計)	540	19.1	10.9	22.2	18.7	1.9	8.7	2.2	2.4	13.9
1000万円以上(計)	637	14.3	11.5	28.6	18.2	0.5	9.1	2.8	1.6	13.5

表2-11-2 仕事を選ぶ際に最も重視する条件(Q9) (%)

55～59歳	総数	収入 (賃金)	勤務時間	経験が生 かせるこ と	体力的に 軽い仕事 であるこ と	仕事を 探るのが 容易であ ること	年金が減 額されな いこと	通勤時間	その他	わからな い
【総数】	371	39.6	14.3	19.9	11.1	3.0	3.5	3.2	1.9	3.5
〔性別〕										
男性	172	59.9	4.1	16.9	3.5	2.3	4.7	1.7	2.3	4.7
女性	199	22.1	23.1	22.6	17.6	3.5	2.5	4.5	1.5	2.5
Q23〔現在の貯蓄額〕										
100万円未満	38	65.8	7.9	15.8	5.3	-	2.6	2.6	-	-
100万円～200万円未満	21	38.1	19.0	28.6	9.5	-	-	-	-	4.8
200万円～300万円未満	34	47.1	14.7	8.8	17.6	-	8.8	-	2.9	-
300万円～500万円未満	34	47.1	11.8	14.7	5.9	5.9	2.9	5.9	2.9	2.9
500万円～700万円未満	21	38.1	14.3	23.8	14.3	-	-	4.8	-	4.8
700万円～1000万円未満	31	29.0	22.6	19.4	12.9	3.2	3.2	6.5	3.2	-
1000万円～2000万円未満	47	31.9	12.8	25.5	14.9	-	8.5	2.1	2.1	2.1
2000万円～3000万円未満	20	25.0	-	35.0	10.0	5.0	10.0	5.0	5.0	5.0
3000万円～5000万円未満	14	35.7	42.9	14.3	7.1	-	-	-	-	-
5000万円以上	10	20.0	10.0	30.0	-	-	-	10.0	-	30.0
貯蓄はない	34	52.9	-	26.5	8.8	2.9	-	5.9	-	2.9
わからない	67	29.9	20.9	14.9	13.4	9.0	1.5	1.5	3.0	6.0
300万円未満(計)貯蓄なし含む	127	52.8	9.4	18.9	10.2	0.8	3.1	2.4	0.8	1.6
300万円～1000万円未満(計)	86	38.4	16.3	18.6	10.5	3.5	2.3	5.8	2.3	2.3
1000万円以上(計)	91	29.7	14.3	26.4	11.0	1.1	6.6	3.3	2.2	5.5

表2-11-3 仕事を選ぶ際に最も重視する条件(Q9) (%)

60歳以上	総数	収入 (賃金)	勤務時間	経験が生 かせるこ と	体力的に 軽い仕事 であるこ と	仕事を 探るのが 容易であ ること	年金が減 額されな いこと	通勤時間	その他	わからな い
【総数】	2,095	16.6	9.1	22.2	19.7	1.1	8.4	2.3	2.1	18.5
〔性別〕										
男性	990	20.7	6.9	28.3	15.9	1.4	8.4	0.8	2.2	15.5
女性	1,105	12.9	11.1	16.7	23.2	0.7	8.5	3.6	1.9	21.3
Q23〔現在の貯蓄額〕										
100万円未満	185	28.1	5.4	13.0	16.8	1.6	7.0	4.9	4.3	18.9
100万円～200万円未満	111	22.5	9.9	18.9	17.1	-	9.9	1.8	1.8	18.0
200万円～300万円未満	134	23.1	6.7	17.2	25.4	3.0	6.0	0.7	2.2	15.7
300万円～500万円未満	145	16.6	11.7	21.4	19.3	1.4	11.0	2.8	3.4	12.4
500万円～700万円未満	141	14.2	6.4	26.2	19.1	1.4	9.2	0.7	2.8	19.9
700万円～1000万円未満	168	15.5	11.3	21.4	22.0	1.8	9.5	1.2	1.2	16.1
1000万円～2000万円未満	226	17.3	10.2	23.9	21.2	-	9.7	1.8	0.4	15.5
2000万円～3000万円未満	149	7.4	11.4	28.2	22.1	0.7	12.1	2.7	1.3	14.1
3000万円～5000万円未満	85	7.1	14.1	32.9	20.0	1.2	8.2	4.7	1.2	10.6
5000万円以上	86	9.3	9.3	39.5	9.3	-	5.8	3.5	4.7	18.6
貯蓄はない	207	19.3	8.2	13.0	20.8	1.4	7.7	2.4	2.4	24.6
わからない	458	14.4	8.5	23.6	19.2	0.7	7.0	2.0	1.3	23.4
300万円未満(計)貯蓄なし含む	637	23.2	7.4	14.9	19.9	1.6	7.5	2.7	2.8	19.9
300万円～1000万円未満(計)	454	15.4	9.9	22.9	20.3	1.5	9.9	1.5	2.4	16.1
1000万円以上(計)	546	11.7	11.0	28.9	19.4	0.4	9.5	2.7	1.5	14.8

## (12) 配偶者の収入のある仕事の有無(Q10)

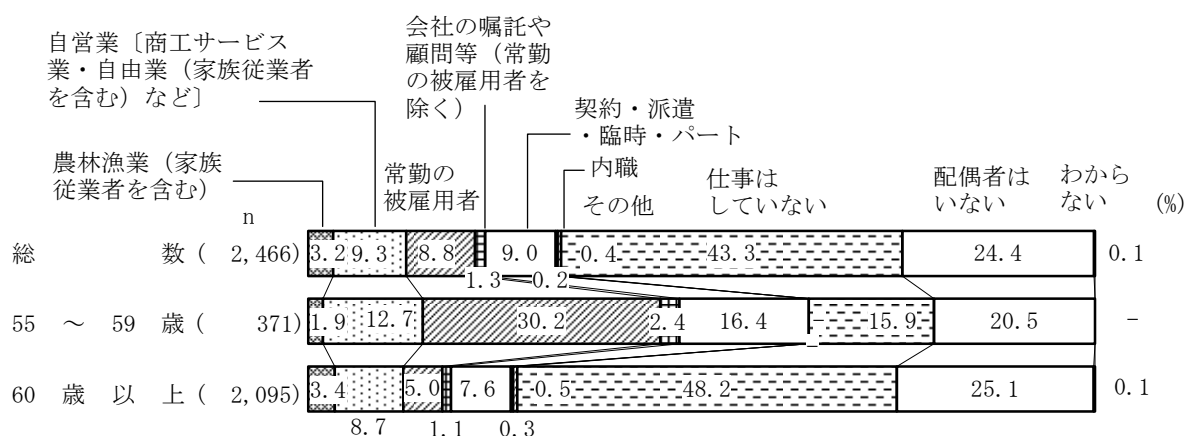
「配偶者が、現在、収入のある仕事をしているか、それは主にどのような仕事か」尋ねてみると、総数では「仕事はしていない」が 43.3%となっており、仕事をしている人では、「農林漁業」が 3.2%、「自営業」が 9.3%、「常勤の被雇用者」が 8.8%、「会社の嘱託や顧問等」が 1.3%、「契約・派遣・臨時・パート」が 9.0%、「内職」が 0.2%などのようになっており、『仕事あり(計)』は 32.2%となっている。

55～59 歳では「仕事はしていない」が 15.9%となっており、仕事をしている人では、「農林漁業」が 1.9%、「自営業」が 12.7%、「常勤の被雇用者」が 30.2%、「会社の嘱託や顧問等」が 2.4%、「契約・派遣・臨時・パート」が 16.4%などのようになっており、『仕事あり(計)』は 63.6%となっている。

60 歳以上では「仕事はしていない」が 48.2%となっており、仕事をしている人では、「農林漁業」が 3.4%、「自営業」が 8.7%、「常勤の被雇用者」が 5.0%、「会社の嘱託や顧問等」が 1.1%、「契約・派遣・臨時・パート」が 7.6%、「内職」が 0.3%などのようになっており、『仕事あり(計)』は 26.6%となっている。

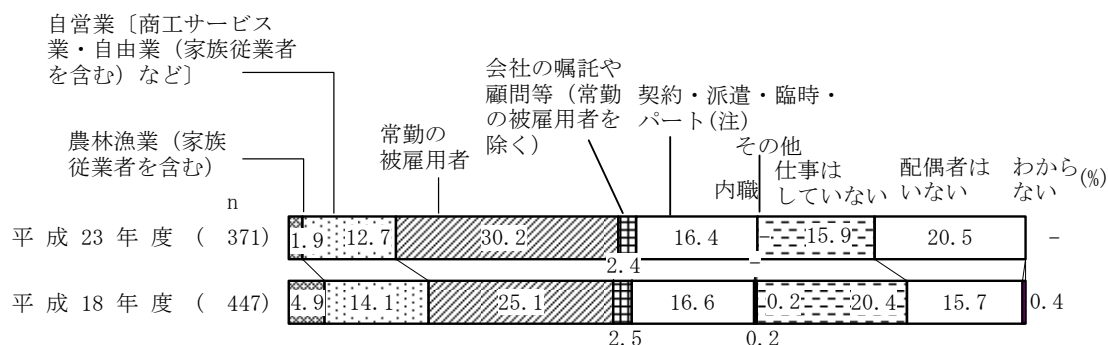
『仕事あり(計)』の割合は 55～59 歳で 63.6%、60 歳以上で 26.6%と 37.0 ポイントの差がみられる。

図 2-12-1 配偶者の収入のある仕事の有無(Q10)



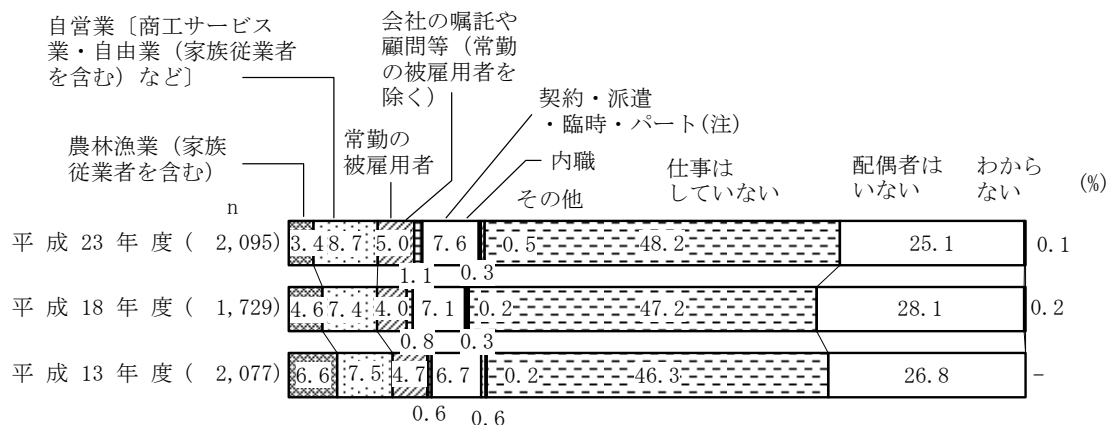
55～59 歳を前回調査と比較すると、「常勤の被雇用者」、「配偶者はいない」割合が増加し、「仕事はしていない」割合が減少している。

図 2-12-2 配偶者の収入のある仕事の有無 (Q10) (前回比較、55～59 歳)



60 歳以上を時系列でみると、「农林漁業」の割合がやや減少傾向、「仕事はしていない」割合はやや増加傾向がみられるが、他では大きな差はみられない。

図 2-12-3 配偶者の収入のある仕事の有無 (Q10) (時系列比較、60 歳以上)



(注) (※)平成13年度は「臨時・パート」

〈総 数〉 (表 2-12-1)

性別にみると、「常勤の被雇用者」は男性(6.3%)より女性(11.0%)で、「契約・派遣・臨時・パート」(男性 13.1%、女性 5.3%)、「仕事はしていない」(男性 53.3%、女性 34.5%)は女性より男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、『仕事あり (計)』は年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

〈55～59 歳〉 (表 2-12-2)

性別にみると、「常勤の被雇用者」は男性(19.2%)より女性(39.7%)で、「契約・派遣・臨時・パート」(男性 27.3%、女性 7.0%)、「仕事はしていない」(男性 18.0%、女性 14.1%)は女性より男性で、それぞれ高くなっている。

〈60 歳以上〉 (表 2-12-3)

性別にみると、「契約・派遣・臨時・パート」(男性 10.6%、女性 5.0%)、「仕事はしていない」(男性 59.4%、女性 38.2%)は女性より男性で、それぞれ高くなっている。

表 2-12-1 配偶者の収入のある仕事の有無(Q10)

(%)

総数	農林漁業 (家族従業者を含む)	自営業 (商工サービス業・自由業(家族従業者を含む)など)	常勤の被 雇者	会社の嘱 託や顧問 等(常勤 の被雇者 を除く)	契約・派 遣・臨時 ・パート	内職	その他	仕事はし ていない	配偶者は いない	わからな い	自営業 者、家族 従業者 (計)	被用者 (計)	仕事あり (計)	
【総数】	2,466	3.2	9.3	8.8	1.3	9.0	0.2	0.4	43.3	24.4	0.1	12.4	19.7	32.2
〔性別〕														
男性	1,162	2.8	9.0	6.3	0.3	13.1	0.5	0.2	53.3	14.3	0.2	11.9	20.4	32.3
女性	1,304	3.5	9.5	11.0	2.1	5.3	-	0.7	34.5	33.4	0.1	13.0	19.1	32.1
〔年齢別〕														
55～59歳	371	1.9	12.7	30.2	2.4	16.4	-	-	15.9	20.5	-	14.6	49.1	63.6
60～64歳	584	3.4	10.8	13.7	1.9	14.7	0.5	0.5	34.6	19.7	0.2	14.2	31.3	45.5
65～69歳	483	3.7	12.2	3.7	1.4	8.9	0.2	0.4	50.5	18.8	-	15.9	14.7	30.6
70～74歳	435	4.1	6.7	1.4	0.9	5.3	0.2	1.1	60.2	19.8	0.2	10.8	9.0	19.8
75～79歳	343	2.6	7.3	-	0.3	2.0	0.3	0.3	52.5	34.4	0.3	9.9	2.9	12.8
80歳以上	250	2.4	2.4	-	-	0.4	-	-	48.8	46.0	-	4.8	0.4	5.2
60歳以上(計)	2,095	3.4	8.7	5.0	1.1	7.6	0.3	0.5	48.2	25.1	0.1	12.1	14.5	26.6

表 2-12-2 配偶者の収入のある仕事の有無(Q10)

(%)

総数	農林漁業 (家族従業者を含む)	自営業 (商工サービス業・自由業(家族従業者を含む)など)	常勤の被 雇者	会社の嘱 託や顧問 等(常勤 の被雇者 を除く)	契約・派 遣・臨時 ・パート	内職	その他	仕事はし ていない	配偶者は いない	わからな い	自営業 者、家族 従業者 (計)	被用者 (計)	仕事あり (計)	
【総数】	371	1.9	12.7	30.2	2.4	16.4	-	-	15.9	20.5	-	14.6	49.1	63.6
〔性別〕														
男性	172	1.2	12.8	19.2	0.6	27.3	-	-	18.0	20.9	-	14.0	47.1	61.0
女性	199	2.5	12.6	39.7	4.0	7.0	-	-	14.1	20.1	-	15.1	50.8	65.8

表 2-12-3 配偶者の収入のある仕事の有無(Q10)

(%)

総数	農林漁業 (家族従業者を含む)	自営業 (商工サービス業・自由業(家族従業者を含む)など)	常勤の被 雇者	会社の嘱 託や顧問 等(常勤 の被雇者 を除く)	契約・派 遣・臨時 ・パート	内職	その他	仕事はし ていない	配偶者は いない	わからな い	自営業 者、家族 従業者 (計)	被用者 (計)	仕事あり (計)	
【総数】	2,095	3.4	8.7	5.0	1.1	7.6	0.3	0.5	48.2	25.1	0.1	12.1	14.5	26.6
〔性別〕														
男性	990	3.1	8.4	4.0	0.3	10.6	0.6	0.2	59.4	13.1	0.2	11.5	15.8	27.3
女性	1,105	3.6	9.0	5.8	1.8	5.0	-	0.8	38.2	35.7	0.1	12.6	13.4	26.0

(13) 配偶者に働いてもらいたい年齢(Q11)

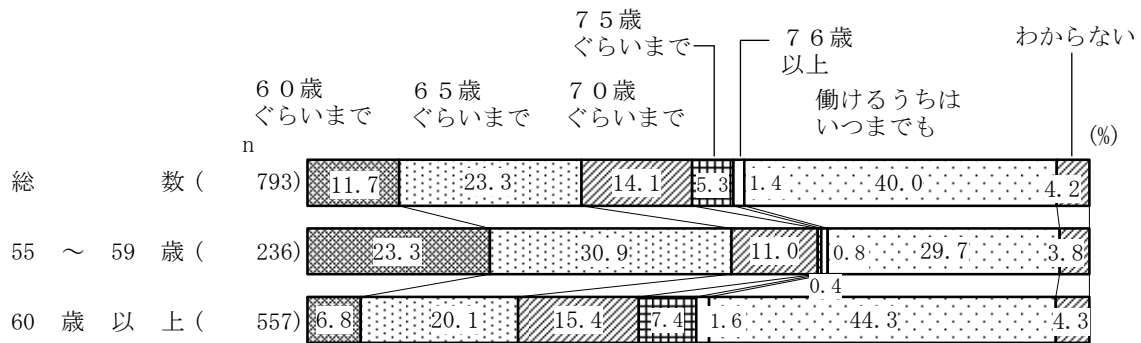
配偶者が仕事をしている人に「配偶者には何歳くらいまで働いてもらいたいと考えているか」尋ねてみると、総数では「働けるうちはいつまでも」が 40.0%と最も高く、以下、「65 歳くらいまで」が 23.3%、「70 歳くらいまで」が 14.1%、「60 歳くらいまで」が 11.7%などの順となっている。

55～59 歳では「65 歳くらいまで」が 30.9%と最も高く、以下、「働けるうちはいつまでも」が 29.7%、「60 歳くらいまで」が 23.3%、「70 歳くらいまで」が 11.0%などの順となっている。

60 歳以上では「働けるうちはいつまでも」が 44.3%と最も高く、以下、「65 歳くらいまで」が 20.1%、「70 歳くらいまで」が 15.4%、「75 歳くらいまで」が 7.4%などの順となっている。

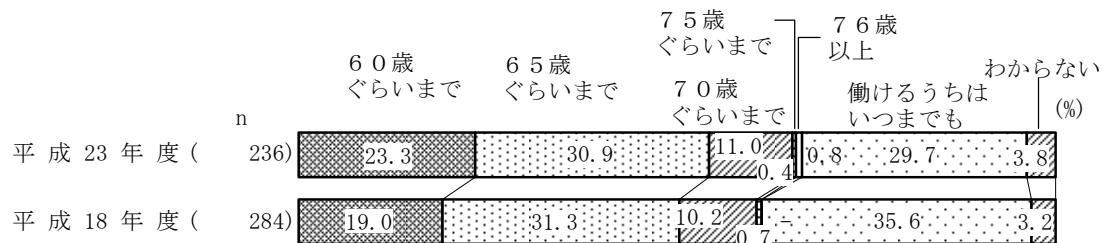
「働けるうちはいつまでも」は 55～59 歳より 60 歳以上で 14.6 ポイント高くなっている。

図 2-13-1 配偶者に働いてもらいたい年齢 (Q11)



55～59 歳を前回調査と比較すると、「60 歳くらいまで」の割合が増加し、「働けるうちはいつまでも」の割合が減少している。

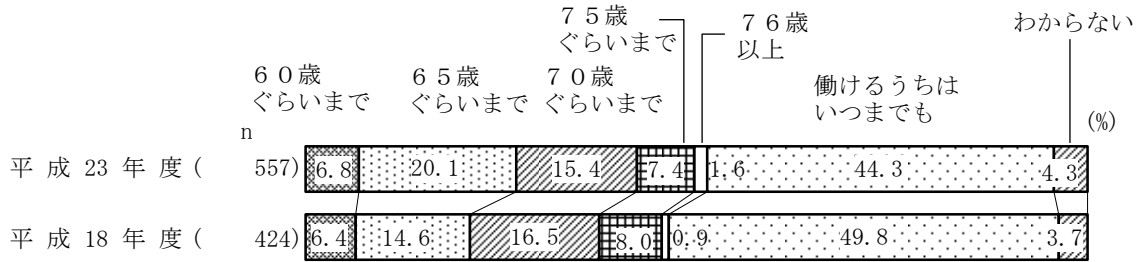
図 2-13-2 配偶者に働いてもらいたい年齢 (Q11) (前回比較、55～59 歳)



60 歳以上を前回調査と比較すると、「65 歳くらいまで」の割合が増加し、「働けるうちはいつまでも」の割合が減少している。  
(図次ページ参照)



図 2-13-3 配偶者に働いてもらいたい年齢 (Q11) (前回比較、60 歳以上)



〈総 数〉 (表 2-13-1)

都市規模別では、あまり大きな差はみられない。

性別にみると、「60 歳ぐらいまで」は女性(2.4%)より男性(22.1%)で 19.7 ポイント、「70 歳ぐらいまで」(男性 10.4%、女性 17.5%)、「働けるうちはいつまでも」(男性 30.7%、女性 48.3%)は男性より女性で、それぞれ順に 7.1 ポイント、17.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「65 歳ぐらいまで」は 55~59 歳、60~64 歳で高く、それぞれ 30.9%、32.7%となっている。「働けるうちはいつまでも」は 65 歳以上で高く、過半数を占める。

健康状態別にみると、「60 歳ぐらいまで」、「65 歳ぐらいまで」は、健康状態が『良い (計)』と答えた人で高く、「70 歳ぐらいまで」、「働けるうちはいつまでも」は、健康状態が『良くない (計)』と答えた人で高くなっている。

〈55~59 歳〉 (表 2-13-2)

都市規模別にみると、「65 歳ぐらいまで」は中都市で高くなっている。

性別にみると、「60 歳ぐらいまで」(男性 45.7%、女性 5.3%)は男性が 40.4 ポイント、「65 歳ぐらいまで」(男性 21.0%、女性 38.9%)は女性が 17.9 ポイント、「70 歳ぐらいまで」(男性 3.8%、女性 16.8%)は女性が 13.0 ポイント、「働けるうちはいつまでも」(男性 21.0%、女性 36.6%)は女性が 15.6 ポイントそれぞれ上回っている。

健康状態別にみると、「65 歳ぐらいまで」、「70 歳ぐらいまで」は、健康状態が良くないほど割合が高くなっている。

〈60 歳以上〉 (表 2-13-3)

都市規模別にみると、「60 歳ぐらいまで」は都市規模が小さくなるほど割合が高くなり、「65 歳ぐらいまで」は都市規模が大きくなるほど割合も高くなる傾向がみられる。

性別にみると、「60 歳ぐらいまで」(男性 13.0%、女性 1.0%)、「65 歳ぐらいまで」(男性 24.8%、女性 15.7%)は女性より男性で高く、「70 歳ぐらいまで」(男性 13.0%、女性 17.8%)、「働けるうちはいつまでも」(男性 34.4%、女性 53.7%)は男性より女性で高くなっている。

健康状態別にみると、「65 歳ぐらいまで」は健康状態が『良い (計)』と答えた人で高く、「働けるうちはいつまでも」は健康状態が『良くない (計)』と答えた人で高くなっている。

表 2-13-1 配偶者に働いてもらいたい年齢(Q11) (%)

総数	該当数	60歳ぐ らいまで	65歳ぐ らいまで	70歳ぐ らいまで	75歳ぐ らいまで	76歳 以上	働けるう ちはいつ までも	わからな い
【総数】	793	11.7	23.3	14.1	5.3	1.4	40.0	4.2
〔都市規模〕								
大都市	151	10.6	22.5	10.6	6.6	0.7	43.7	5.3
中都市	310	9.7	25.8	15.8	5.2	0.6	38.4	4.5
小都市	242	12.4	20.7	15.7	5.0	2.1	40.1	4.1
町村	90	18.9	23.3	10.0	4.4	3.3	38.9	1.1
〔性別〕								
男性	375	22.1	23.7	10.4	5.6	1.3	30.7	6.1
女性	418	2.4	23.0	17.5	5.0	1.4	48.3	2.4
〔年齢別〕								
55～59歳	236	23.3	30.9	11.0	0.4	0.8	29.7	3.8
60～64歳	266	12.8	32.7	16.5	2.6	0.4	31.6	3.4
65～69歳	148	2.0	14.9	18.9	8.8	0.7	50.0	4.7
70～74歳	86	1.2	3.5	15.1	16.3	3.5	54.7	5.8
75～79歳	44	-	-	2.3	13.6	9.1	68.2	6.8
80歳以上	13	-	-	-	7.7	-	92.3	-
60歳以上(計)	557	6.8	20.1	15.4	7.4	1.6	44.3	4.3
〔健康状態〕								
良い	356	15.2	23.0	11.0	5.3	0.8	40.2	4.5
まあ良い	182	8.2	19.2	18.1	8.2	1.6	41.2	3.3
普通	170	11.2	31.8	13.5	2.4	1.8	34.7	4.7
あまり良くない	75	5.3	18.7	21.3	5.3	2.7	45.3	1.3
良くない	10	10.0	-	10.0	-	-	60.0	20.0
良い(計)	538	12.8	21.7	13.4	6.3	1.1	40.5	4.1
良くない(計)	85	5.9	16.5	20.0	4.7	2.4	47.1	3.5

表 2-13-2 配偶者に働いてもらいたい年齢(Q11) (%)

55～59歳	該当数	60歳ぐ らいまで	65歳ぐ らいまで	70歳ぐ らいまで	75歳ぐ らいまで	76歳 以上	働けるう ちはいつ までも	わからな い
【総数】	236	23.3	30.9	11.0	0.4	0.8	29.7	3.8
〔都市規模〕								
大都市	40	30.0	22.5	17.5	-	-	30.0	-
中都市	98	17.3	38.8	12.2	-	-	26.5	5.1
小都市	75	25.3	24.0	6.7	1.3	1.3	36.0	5.3
町村	23	30.4	34.8	8.7	-	4.3	21.7	-
〔性別〕								
男性	105	45.7	21.0	3.8	-	1.9	21.0	6.7
女性	131	5.3	38.9	16.8	0.8	-	36.6	1.5
〔健康状態〕								
良い	126	27.0	27.8	6.3	0.8	-	31.7	6.3
まあ良い	42	19.0	33.3	14.3	-	-	31.0	2.4
普通	53	18.9	34.0	17.0	-	3.8	26.4	-
あまり良くない	14	14.3	42.9	21.4	-	-	21.4	-
良くない	1	100.0	-	-	-	-	-	-
良い(計)	168	25.0	29.2	8.3	0.6	-	31.5	5.4
良くない(計)	15	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-

表 2-13-3 配偶者に働いてもらいたい年齢(Q11) (%)

60歳以上	該当数	60歳ぐ らいまで	65歳ぐ らいまで	70歳ぐ らいまで	75歳ぐ らいまで	76歳 以上	働けるう ちはいつ までも	わからな い
【総数】	557	6.8	20.1	15.4	7.4	1.6	44.3	4.3
〔都市規模〕								
大都市	111	3.6	22.5	8.1	9.0	0.9	48.6	7.2
中都市	212	6.1	19.8	17.5	7.5	0.9	43.9	4.2
小都市	167	6.6	19.2	19.8	6.6	2.4	41.9	3.6
町村	67	14.9	19.4	10.4	6.0	3.0	44.8	1.5
〔性別〕								
男性	270	13.0	24.8	13.0	7.8	1.1	34.4	5.9
女性	287	1.0	15.7	17.8	7.0	2.1	53.7	2.8
〔健康状態〕								
良い	230	8.7	20.4	13.5	7.8	1.3	44.8	3.5
まあ良い	140	5.0	15.0	19.3	10.7	2.1	44.3	3.6
普通	117	7.7	30.8	12.0	3.4	0.9	38.5	6.8
あまり良くない	61	3.3	13.1	21.3	6.6	3.3	50.8	1.6
良くない	9	-	-	11.1	-	-	66.7	22.2
良い(計)	370	7.3	18.4	15.7	8.9	1.6	44.6	3.5
良くない(計)	70	2.9	11.4	20.0	5.7	2.9	52.9	4.3

#### (14) 就業による収入が得られなくなった場合の年金による生活費(Q12)

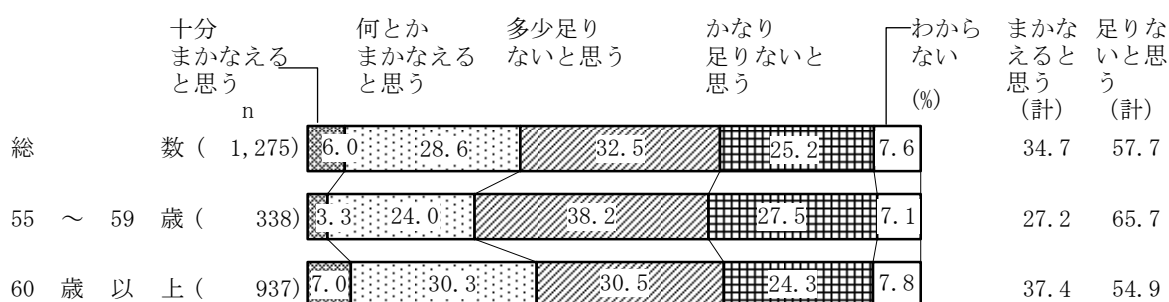
本人、または配偶者のいずれかが就業している人に、「(配偶者も含め、)将来、就業による収入が得られなくなった場合、毎月の生活費の支出を年金(公的年金、私的年金を含めたもの)でまかなえると思うか」尋ねてみると、総数では「十分まかなえると思う」が6.0%、「何とかまかなえると思う」が28.6%となっており、両方を合わせた『まかなえると思う(計)』が34.7%となっている。一方、「多少足りないと思う」は32.5%、「かなり足りないと思う」が25.2%となっており、両方を合わせた『足りないと思う(計)』は57.7%となっている。

55～59歳では「十分まかなえると思う」が3.3%、「何とかまかなえると思う」が24.0%となっており、両方を合わせた『まかなえると思う(計)』が27.2%となっている。一方、「多少足りないと思う」は38.2%、「かなり足りないと思う」が27.5%となっており、両方を合わせた『足りないと思う(計)』は65.7%となっている。

60歳以上では「十分まかなえると思う」が7.0%、「何とかまかなえると思う」が30.3%となっており、両方を合わせた『まかなえると思う(計)』が37.4%となっている。一方、「多少足りないと思う」は30.5%、「かなり足りないと思う」が24.3%となっており、両方を合わせた『足りないと思う(計)』は54.9%となっている。

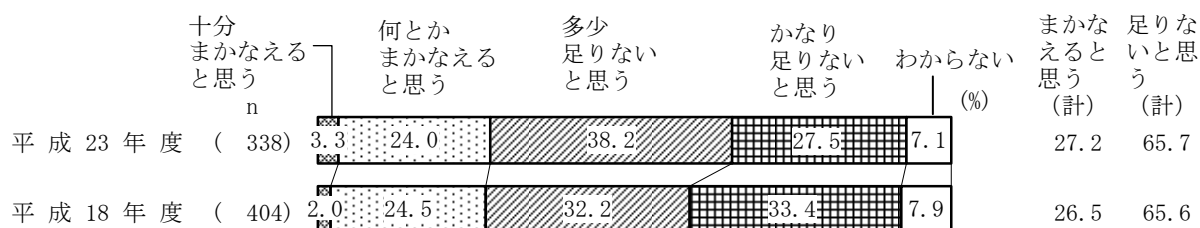
『まかなえると思う(計)』は60歳以上が55～59歳より10.2ポイント高くなっている。

図2-14-1 就業による収入が得られなくなった場合の年金による生活費(Q12)



55～59歳を前回調査と比較すると、「かなり足りないと思う」割合が減少しているが、『足りないと思う(計)』割合では差はみられない。

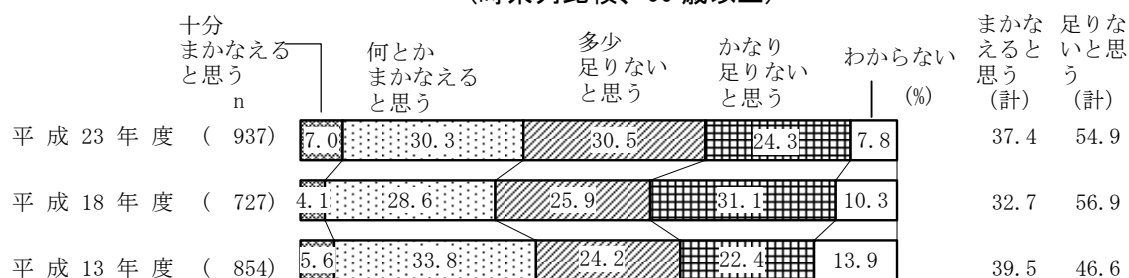
図2-14-2 就業による収入が得られなくなった場合の年金による生活費(Q12)  
(前回比較、55～59歳)



60歳以上を時系列でみると、『まかなえると思う（計）』割合は前回調査より増加している。「かなり足りないと思う」割合は前回調査より6.8ポイント減少しているが、『足りないと思う（計）』割合の減少はわずかで、平成13年度と比べると8.3ポイント増加している。

図2-14-3 就業による収入が得られなくなった場合の年金による生活費(Q12)

(時系列比較、60歳以上)



〈総数〉(表2-14-1)

都市規模別にみると、『まかなえると思う(計)』は都市規模が小さくなるほど割合が高くなっている。

性別にみると、『まかなえると思う(計)』は男性(31.7%)より女性(38.0%)で高くなっている。

年齢別にみると、『まかなえると思う(計)』は年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向がみられる。

家族形態別では、『まかなえると思う(計)』は単身世帯(23.4%)で低く、夫婦二世帯(42.6%)で高くなっている。

現在の貯蓄額別では、『まかなえると思う(計)』は『1,000万円以上(計)』(49.3%)で高く、『300万円未満(計)貯蓄なし含む』(19.3%)で低くなっている。

〈55~59歳〉(表2-14-2)

都市規模別にみると、『足りないと思う(計)』は大都市(70.5%)と小都市(69.8%)で高くなっている。

性別にみると、『まかなえると思う(計)』は男性(23.2%)より女性(31.0%)で高くなっている。

家族形態別では、『まかなえると思う(計)』は夫婦二世帯(40.6%)で高くなっている。

現在の貯蓄額別では、『まかなえると思う(計)』は『300万円未満(計)貯蓄なし含む』(16.4%)で低くなっている。

〈60歳以上〉(表2-14-3)

都市規模別にみると、『まかなえると思う(計)』は都市規模が小さくなるほど割合が高くなっている。

性別にみると、『まかなえると思う(計)』は男性(34.4%)より女性(40.8%)で高くなっている。

家族形態別では、『まかなえると思う(計)』は単身世帯(27.1%)で低くなっている。

現在の貯蓄額別では、『まかなえると思う（計）』は『1,000万円以上（計）』（53.4%）で高く、『300万円未満（計）貯蓄なし含む』（20.6%）で低くなっている。

表2-14-1 就業による収入が得られなくなった場合の年金による生活費（Q12）（%）

総数	該当数	十分まかなえると思う	何とかまかなえると思う	多少足りないと思う	かなり足りないと思う	わからない	まかなえると思う（計）	足りないと思う（計）
【総数】	1,275	6.0	28.6	32.5	25.2	7.6	34.7	57.7
〔都市規模〕								
大都市	251	6.8	25.1	30.3	27.1	10.8	31.9	57.4
中都市	517	4.6	29.2	32.5	24.0	9.7	33.8	56.5
小都市	364	7.1	28.8	32.4	27.5	4.1	36.0	59.9
町村	143	7.0	32.2	37.1	20.3	3.5	39.2	57.3
〔性別〕								
男性	672	5.2	26.5	34.4	24.9	9.1	31.7	59.2
女性	603	7.0	31.0	30.5	25.5	6.0	38.0	56.1
〔年齢別〕								
55～59歳	338	3.3	24.0	38.2	27.5	7.1	27.2	65.7
60～64歳	431	4.4	28.3	33.6	25.1	8.6	32.7	58.7
65～69歳	260	7.7	32.3	29.2	22.3	8.5	40.0	51.5
70～74歳	142	12.0	26.1	27.5	29.6	4.9	38.0	57.0
75～79歳	76	5.3	40.8	25.0	22.4	6.6	46.1	47.4
80歳以上	28	21.4	35.7	25.0	10.7	7.1	57.1	35.7
60歳以上（計）	937	7.0	30.3	30.5	24.3	7.8	37.4	54.9
〔家族形態別〕								
単身世帯	77	2.6	20.8	18.2	36.4	22.1	23.4	54.5
夫婦二世帯	411	8.5	34.1	31.4	20.2	5.8	42.6	51.6
本人と親の世帯	94	7.4	30.9	33.0	22.3	6.4	38.3	55.3
本人と子の世帯	382	4.5	26.2	40.1	22.5	6.8	30.6	62.6
本人と子と孫の世帯	125	8.0	25.6	25.6	32.8	8.0	33.6	58.4
その他	186	3.2	25.8	30.1	33.3	7.5	29.0	63.4
Q23〔現在の貯蓄額〕								
100万円未満	113	1.8	10.6	30.1	51.3	6.2	12.4	81.4
100万円～200万円未満	64	1.6	21.9	43.8	26.6	6.3	23.4	70.3
200万円～300万円未満	87	5.7	24.1	35.6	29.9	4.6	29.9	65.5
300万円～500万円未満	96	4.2	22.9	40.6	25.0	7.3	27.1	65.6
500万円～700万円未満	85	2.4	32.9	43.5	15.3	5.9	35.3	58.8
700万円～1000万円未満	93	5.4	39.8	34.4	15.1	5.4	45.2	49.5
1000万円～2000万円未満	143	4.2	36.4	32.9	20.3	6.3	40.6	53.1
2000万円～3000万円未満	95	8.4	44.2	17.9	21.1	8.4	52.6	38.9
3000万円～5000万円未満	57	15.8	35.1	28.1	19.3	1.8	50.9	47.4
5000万円以上	66	27.3	34.8	21.2	10.6	6.1	62.1	31.8
貯蓄はない	99	2.0	13.1	22.2	49.5	13.1	15.2	71.7
わからない	277	5.4	29.2	35.4	19.1	10.8	34.7	54.5
300万円未満（計）貯蓄なし含む	363	2.8	16.5	31.7	41.3	7.7	19.3	73.0
300万円～1000万円未満（計）	274	4.0	31.8	39.4	18.6	6.2	35.8	58.0
1000万円以上（計）	361	11.4	38.0	26.0	18.6	6.1	49.3	44.6

表2-14-2 就業による収入が得られなくなった場合の年金による生活費（Q12）（%）

55 ～ 59 歳	該当数	十分まかなえると 思う	何とかまかなえる と思う	多少足りない と思う	かなり足りない と思う	わからない	まかなえる と思う (計)	足りない と思う (計)
【総数】	338	3.3	24.0	38.2	27.5	7.1	27.2	65.7
〔都市規模〕								
大都市	61	6.6	14.8	45.9	24.6	8.2	21.3	70.5
中都市	137	1.5	28.5	35.0	26.3	8.8	29.9	61.3
小都市	106	3.8	21.7	37.7	32.1	4.7	25.5	69.8
町村	34	2.9	29.4	38.2	23.5	5.9	32.4	61.8
〔性別〕								
男性	164	3.0	20.1	40.2	27.4	9.1	23.2	67.7
女性	174	3.4	27.6	36.2	27.6	5.2	31.0	63.8
〔家族形態別〕								
単身世帯	18	5.6	5.6	22.2	44.4	22.2	11.1	66.7
夫婦二世帯	69	7.2	33.3	33.3	21.7	4.3	40.6	55.1
本人と親の世帯	45	6.7	24.4	33.3	31.1	4.4	31.1	64.4
本人と子の世帯	115	-	23.5	48.7	21.7	6.1	23.5	70.4
本人と子と孫の世帯	12	8.3	25.0	25.0	33.3	8.3	33.3	58.3
その他	79	1.3	20.3	35.4	34.2	8.9	21.5	69.6
Q23〔現在の貯蓄額〕								
100万円未満	36	-	8.3	36.1	50.0	5.6	8.3	86.1
100万円～200万円未満	20	-	25.0	55.0	20.0	-	25.0	75.0
200万円～300万円未満	31	6.5	19.4	41.9	29.0	3.2	25.8	71.0
300万円～500万円未満	31	3.2	16.1	38.7	38.7	3.2	19.4	77.4
500万円～700万円未満	20	-	30.0	55.0	10.0	5.0	30.0	65.0
700万円～1000万円未満	29	6.9	41.4	41.4	10.3	-	48.3	51.7
1000万円～2000万円未満	38	2.6	26.3	44.7	21.1	5.3	28.9	65.8
2000万円～3000万円未満	20	-	45.0	25.0	20.0	10.0	45.0	45.0
3000万円～5000万円未満	13	15.4	30.8	38.5	7.7	7.7	46.2	46.2
5000万円以上	9	11.1	11.1	44.4	22.2	11.1	22.2	66.7
貯蓄はない	29	-	10.3	20.7	51.7	17.2	10.3	72.4
わからない	62	3.2	27.4	32.3	24.2	12.9	30.6	56.5
300万円未満（計）貯蓄なし含む	116	1.7	14.7	37.1	39.7	6.9	16.4	76.7
300万円～1000万円未満（計）	80	3.8	28.8	43.8	21.3	2.5	32.5	65.0
1000万円以上（計）	80	5.0	30.0	38.8	18.8	7.5	35.0	57.5

表2-14-3 就業による収入が得られなくなった場合の年金による生活費（Q12）（%）

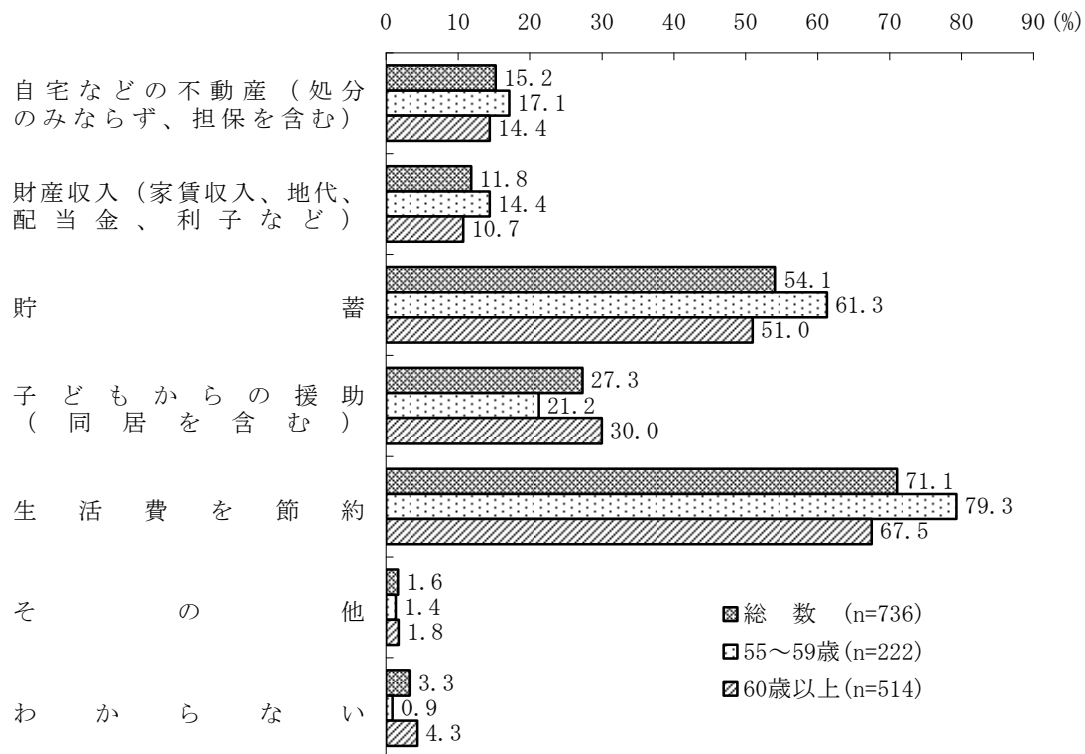
60 歳 以上	該当数	十分まかなえると 思う	何とかまかなえる と思う	多少足りない と思う	かなり足りない と思う	わからない	まかなえる と思う (計)	足りない と思う (計)
【総数】	937	7.0	30.3	30.5	24.3	7.8	37.4	54.9
〔都市規模〕								
大都市	190	6.8	28.4	25.3	27.9	11.6	35.3	53.2
中都市	380	5.8	29.5	31.6	23.2	10.0	35.3	54.7
小都市	258	8.5	31.8	30.2	25.6	3.9	40.3	55.8
町村	109	8.3	33.0	36.7	19.3	2.8	41.3	56.0
〔性別〕								
男性	508	5.9	28.5	32.5	24.0	9.1	34.4	56.5
女性	429	8.4	32.4	28.2	24.7	6.3	40.8	52.9
〔家族形態別〕								
単身世帯	59	1.7	25.4	16.9	33.9	22.0	27.1	50.8
夫婦二世帯	342	8.8	34.2	31.0	19.9	6.1	43.0	50.9
本人と親の世帯	49	8.2	36.7	32.7	14.3	8.2	44.9	46.9
本人と子の世帯	267	6.4	27.3	36.3	22.8	7.1	33.7	59.2
本人と子と孫の世帯	113	8.0	25.7	25.7	32.7	8.0	33.6	58.4
その他	107	4.7	29.9	26.2	32.7	6.5	34.6	58.9
Q23〔現在の貯蓄額〕								
100万円未満	77	2.6	11.7	27.3	51.9	6.5	14.3	79.2
100万円～200万円未満	44	2.3	20.5	38.6	29.5	9.1	22.7	68.2
200万円～300万円未満	56	5.4	26.8	32.1	30.4	5.4	32.1	62.5
300万円～500万円未満	65	4.6	26.2	41.5	18.5	9.2	30.8	60.0
500万円～700万円未満	65	3.1	33.8	40.0	16.9	6.2	36.9	56.9
700万円～1000万円未満	64	4.7	39.1	31.3	17.2	7.8	43.8	48.4
1000万円～2000万円未満	105	4.8	40.0	28.6	20.0	6.7	44.8	48.6
2000万円～3000万円未満	75	10.7	44.0	16.0	21.3	8.0	54.7	37.3
3000万円～5000万円未満	44	15.9	36.4	25.0	22.7	-	52.3	47.7
5000万円以上	57	29.8	38.6	17.5	8.8	5.3	68.4	26.3
貯蓄はない	70	2.9	14.3	22.9	48.6	11.4	17.1	71.4
わからない	215	6.0	29.8	36.3	17.7	10.2	35.8	54.0
300万円未満（計）貯蓄なし含む	247	3.2	17.4	29.1	42.1	8.1	20.6	71.3
300万円～1000万円未満（計）	194	4.1	33.0	37.6	17.5	7.7	37.1	55.2
1000万円以上（計）	281	13.2	40.2	22.4	18.5	5.7	53.4	40.9

### (15) 生活費不足分の対応方法 (Q12SQ)

Q12 で毎月の生活費をまかなうのに年金では『足りないと思う (計)』と答えた人に、「生活費で足りない分を何でまかなうか」尋ねてみると、総数、55～59 歳、60 歳以上それぞれ「生活費を節約」が総数で 71.1%、55～59 歳で 79.3%、60 歳以上で 67.5%と最も高く、以下、「貯蓄」が総数で 54.1%、55～59 歳で 61.3%、60 歳以上で 51.0%、「子どもからの援助(同居を含む)」が総数で 27.3%、55～59 歳で 21.2%、60 歳以上で 30.0%、「自宅などの不動産(処分のみならず、担保を含む)」が総数で 15.2%、55～59 歳で 17.1%、60 歳以上で 14.4%などの順になっている。

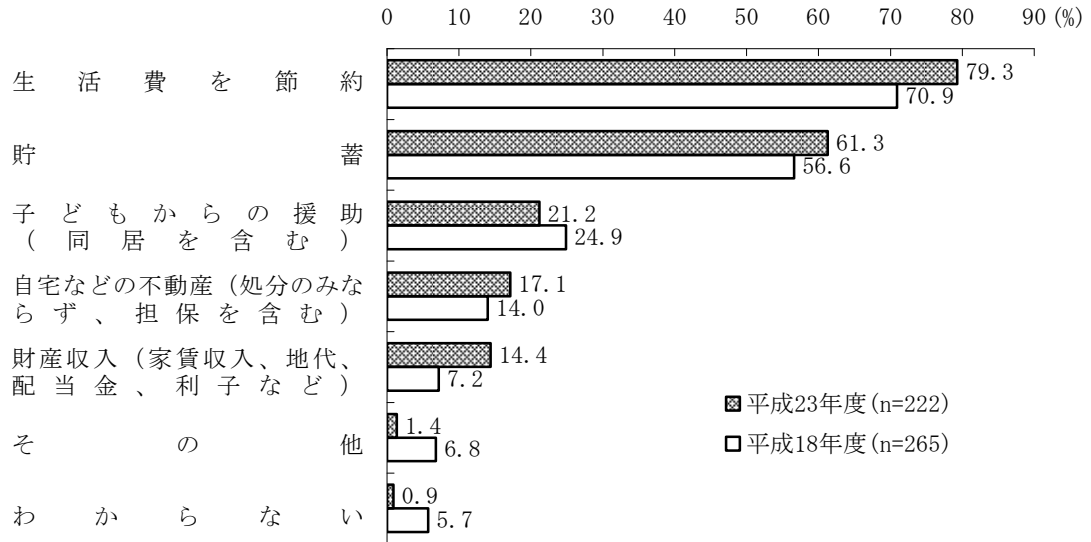
「生活費を節約」、「貯蓄」は 55～59 歳が 60 歳以上よりそれぞれ 11.8 ポイント、10.3 ポイント高くなっている。一方、「子どもからの援助(同居を含む)」は 60 歳以上が 55～59 歳より 8.8 ポイント高くなっている。

図 2-15-1 生活費不足分の対応方法 (Q12SQ) (3 つまでの複数回答)



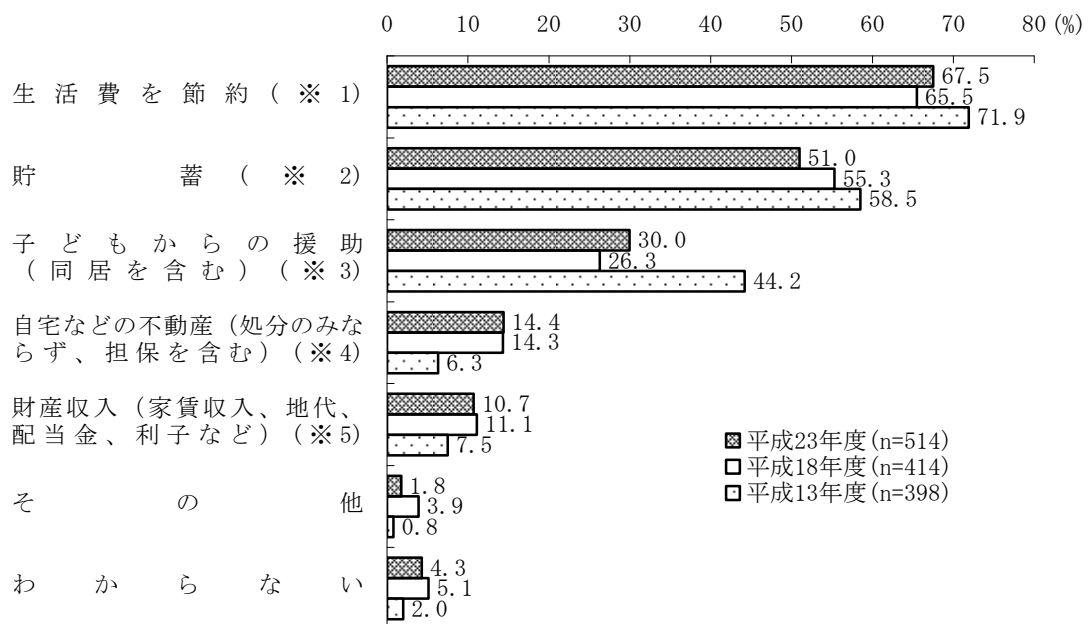
55～59 歳を前回調査と比較すると、「生活費を節約」、「貯蓄」、「自宅などの不動産(処分のみならず、担保を含む)」の割合がいずれも増加しているが、「生活費を節約」の 8.4 ポイントが最も差が大きい。

図 2-15-2 生活費不足分の対応方法 (Q12SQ) (3つまでの複数回答) (前回比較、55～59 歳)



60 歳以上を時系列にみると、「貯蓄」の割合は減少傾向がみられる。「生活費を節約」、「子どもからの援助(同居を含む)」の割合は前回調査よりやや増加しているが、平成 13 年度調査と比べると割合が低くなっており、特に「子どもからの援助(同居を含む)」は平成 13 年度調査より 14.2 ポイント減少している。

図 2-15-3 生活費不足分の対応方法 (Q12SQ) (3つまでの複数回答) (時系列比較、60 歳以上)



(注) (※1) 平成13年度は「生活費を節約して間に合わせる」  
 (注) (※2) 平成13年度は「貯蓄を取り崩してまかなう」  
 (注) (※3) 平成13年度は「子供と同居したり、子供に助けてもらう」  
 (注) (※4) 平成13年度は「自宅などの不動産を処分したり、担保にして借りたりしてまかなう」  
 (注) (※5) 平成13年度は「財産収入 (家賃収入、地代、配当金、利子など) でまかなう」



#### 〈総数〉（表2-15-1）

都市規模別にみると、「子どもからの援助(同居を含む)」は小都市(33.9%)で高くなっている。

性別にみると、「貯蓄」(男性 51.8%、女性 56.8%)は男性より女性で、「自宅などの不動産」(男性 17.3%、女性 12.7%)は女性より男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「生活費を節約」と「貯蓄」は80歳以上を除き、年齢が低くなるほど割合が高くなっている。一方、「子どもからの援助(同居を含む)」は75歳未満では、年齢が高くなるほど割合も高くなっている。

最長職業別では、「生活費を節約」は常勤の被雇用者(76.9%)で、「子どもからの援助(同居を含む)」は農林漁業(43.8%)で、それぞれ高くなっている。

現在の貯蓄額別では、「生活費を節約」は『300万円～1,000万円未満(計)』(79.9%)で高く、『1,000万円以上(計)』(62.1%)で低くなっている。一方、「貯蓄」、「財産収入」はともに『1,000万円以上(計)』(順に 78.9%、21.1%)で高く、『300万円未満(計)貯蓄なし含む』(順に 35.5%、5.3%)で低くなっている。また、「子どもからの援助」は『300万円未満(計)貯蓄なし含む』(34.3%)で高くなっている。

#### 〈55～59歳〉（表2-15-2）

都市規模別にみると、「生活費を節約」は都市規模が小さくなるほど割合が高くなる傾向がみられる。「貯蓄」は中都市(71.4%)が高くなっている。

性別にみると、「生活費を節約」は男性(74.8%)より女性(83.8%)で高くなっている。

最長職業別では、「生活費を節約」は常勤の被雇用者(81.8%)で高くなっている。

現在の貯蓄額別では、該当数が少ないため、数値は参考値にとどめ、分析は控える。

#### 〈60歳以上〉（表2-15-3）

都市規模別にみると、「子どもからの援助(同居を含む)」は小都市(39.6%)で、「自宅などの不動産」は町村(23.0%)で、「財産収入」は大都市(21.8%)で、それぞれ高くなっている。

性別にみると、「貯蓄」は男性より女性で、「自宅などの不動産」は女性より男性で、それぞれ高くなっている。

最長職業別では、「生活費を節約」は常勤の被雇用者(74.2%)、「子どもからの援助(同居を含む)」は農林漁業(51.9%)で、それぞれ高くなっている。

現在の貯蓄額別では、「貯蓄」、「財産収入」はともに『1,000万円以上(計)』(順に 77.4%、17.4%)で高く、『300万円未満(計)貯蓄なし含む』(順に 29.5%、5.1%)で低くなっている。

表2-15-1 生活費不足分の対応方法 (Q12SQ) (3つまでの複数回答)

(%)

総数	該当数	生活費を節約	貯蓄	子どもからの援助 (同居を含む)	自宅などの不動産 (処分のみならず、担保を含む)	財産収入 (家賃収入、地代、配当金、利子など)	その他	わからない	回答計
総数	736	71.1	54.1	27.3	15.2	11.8	1.6	3.3	184.4
〔都市規模〕									
大都市	144	66.0	58.3	22.9	15.3	20.8	2.1	0.7	186.1
中都市	292	71.6	58.9	25.0	14.0	11.0	2.1	4.8	187.3
小都市	218	71.6	48.6	33.9	14.2	8.7	0.9	3.2	181.2
町村	82	76.8	43.9	25.6	22.0	7.3	1.2	2.4	179.3
〔性別〕									
男性	398	70.1	51.8	28.1	17.3	12.6	2.0	3.3	185.2
女性	338	72.2	56.8	26.3	12.7	10.9	1.2	3.3	183.4
〔年齢別〕									
55～59歳	222	79.3	61.3	21.2	17.1	14.4	1.4	0.9	195.5
60～64歳	253	71.1	54.9	23.7	14.2	9.1	2.8	4.7	180.6
65～69歳	134	67.2	52.2	31.3	14.2	10.4	-	3.7	179.1
70～74歳	81	60.5	43.2	42.0	17.3	13.6	1.2	2.5	180.2
75～79歳	36	55.6	38.9	41.7	13.9	13.9	-	8.3	172.2
80歳以上	10	80.0	40.0	30.0	-	20.0	10.0	-	180.0
60歳以上(計)	514	67.5	51.0	30.0	14.4	10.7	1.8	4.3	179.6
〔最長職業〕									
農林漁業(家族従事者を含む)	64	64.1	32.8	43.8	26.6	12.5	1.6	-	181.3
自営業(商工サービス業・自由業)	211	63.0	49.8	28.9	18.5	14.7	0.5	4.7	180.1
常勤の被雇用者	338	76.9	59.2	24.6	11.8	10.4	2.1	2.7	187.6
契約・派遣・臨時・パート	80	72.5	50.0	30.0	13.8	7.5	2.5	5.0	181.3
内職	5	80.0	60.0	40.0	20.0	-	-	-	200.0
仕事に就いたことはない	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	200.0
専業主婦(夫)	32	71.9	71.9	3.1	9.4	18.8	3.1	3.1	181.3
その他	3	33.3	100.0	-	33.3	33.3	-	-	200.0
わからない	2	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	300.0
自営業者、家族従業者(計)	275	63.3	45.8	32.4	20.4	14.2	0.7	3.6	180.4
被用者(計)	423	76.1	57.4	25.8	12.3	9.7	2.1	3.1	186.5
無職(計)	33	72.7	72.7	3.0	9.1	18.2	3.0	3.0	181.8
Q23〔現在の貯蓄額〕									
100万円未満	92	69.6	26.1	32.6	12.0	2.2	2.2	6.5	151.1
100万円～200万円未満	45	77.8	44.4	35.6	4.4	8.9	2.2	4.4	177.8
200万円～300万円未満	57	77.2	63.2	29.8	19.3	8.8	1.8	3.5	203.5
300万円～500万円未満	63	77.8	61.9	31.7	17.5	12.7	-	-	201.6
500万円～700万円未満	50	82.0	46.0	16.0	20.0	8.0	4.0	2.0	178.0
700万円～1000万円未満	46	80.4	67.4	37.0	13.0	8.7	-	-	206.5
1000万円～2000万円未満	76	67.1	82.9	22.4	13.2	11.8	-	-	197.4
2000万円～3000万円未満	37	70.3	67.6	29.7	13.5	29.7	-	-	210.8
3000万円～5000万円未満	27	40.7	85.2	22.2	22.2	25.9	-	-	196.3
5000万円以上	21	57.1	76.2	4.8	19.0	33.3	-	-	190.5
貯蓄はない	71	70.4	19.7	39.4	28.2	4.2	7.0	8.5	177.5
わからない	151	68.2	55.6	19.9	10.6	15.2	0.7	4.6	174.8
300万円未満(計)貯蓄なし含む	265	72.8	35.5	34.3	16.6	5.3	3.4	6.0	174.0
300万円～1000万円未満(計)	159	79.9	58.5	28.3	17.0	10.1	1.3	0.6	195.6
1000万円以上(計)	161	62.1	78.9	21.7	15.5	21.1	-	-	199.4

表2-15-2 生活費不足分の対応方法 (Q12SQ) (3つまでの複数回答) (%)

55 ~ 59 歳	該当数	生活費を節約	貯蓄	子どもからの援助 (同居を含む)	自宅などの不動産 (処分のみならず、担保を含む)	財産収入 (家賃収入、地代、配当金、利子など)	その他	わからない	回答計
【総数】	222	79.3	61.3	21.2	17.1	14.4	1.4	0.9	195.5
〔都市規模〕									
大都市	43	65.1	62.8	16.3	16.3	18.6	2.3	-	181.4
中都市	84	82.1	71.4	22.6	19.0	15.5	1.2	1.2	213.1
小都市	74	81.1	54.1	23.0	14.9	12.2	1.4	1.4	187.8
町村	21	90.5	42.9	19.0	19.0	9.5	-	-	181.0
〔性別〕									
男性	111	74.8	62.2	25.2	18.9	17.1	0.9	1.8	200.9
女性	111	83.8	60.4	17.1	15.3	11.7	1.8	-	190.1
〔最長職業〕									
農林漁業 (家族従事者を含む)	12	75.0	41.7	8.3	50.0	-	-	-	175.0
自営業 (商工サービス業・自由業)	46	73.9	52.2	26.1	28.3	17.4	-	-	197.8
常勤の被雇用者	121	81.8	65.3	19.0	12.4	15.7	0.8	1.7	196.7
契約・派遣・臨時・パート	30	76.7	53.3	36.7	6.7	10.0	3.3	-	186.7
内職	1	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	300.0
仕事に就いたことはない	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0
専業主婦 (夫)	11	81.8	90.9	-	9.1	18.2	9.1	-	209.1
その他	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	200.0
わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0
自営業者、家族従業者 (計)	58	74.1	50.0	22.4	32.8	13.8	-	-	193.1
被用者 (計)	152	80.9	63.2	22.4	11.8	14.5	1.3	1.3	195.4
無職 (計)	11	81.8	90.9	-	9.1	18.2	9.1	-	209.1
Q23 [現在の貯蓄額]									
100万円未満	31	74.2	32.3	35.5	16.1	3.2	3.2	3.2	167.7
100万円～200万円未満	15	93.3	60.0	33.3	-	-	-	-	186.7
200万円～300万円未満	22	81.8	72.7	27.3	13.6	9.1	-	-	204.5
300万円～500万円未満	24	91.7	66.7	8.3	16.7	20.8	-	-	204.2
500万円～700万円未満	13	84.6	69.2	-	30.8	15.4	7.7	-	207.7
700万円～1000万円未満	15	93.3	73.3	26.7	26.7	-	-	-	220.0
1000万円～2000万円未満	25	72.0	88.0	12.0	20.0	12.0	-	-	204.0
2000万円～3000万円未満	9	88.9	66.7	-	11.1	55.6	-	-	222.2
3000万円～5000万円未満	6	33.3	83.3	16.7	16.7	50.0	-	-	200.0
5000万円以上	6	83.3	83.3	-	33.3	50.0	-	-	250.0
貯蓄はない	21	71.4	33.3	28.6	33.3	9.5	4.8	4.8	185.7
わからない	35	74.3	57.1	25.7	5.7	17.1	-	-	180.0
300万円未満 (計) 貯蓄なし含む	89	78.7	47.2	31.5	16.9	5.6	2.2	2.2	184.3
300万円～1000万円未満 (計)	52	90.4	69.2	11.5	23.1	13.5	1.9	-	209.6
1000万円以上 (計)	46	71.7	82.6	8.7	19.6	30.4	-	-	213.0

表2-15-3 生活費不足分の対応方法 (Q12SQ) (3つまでの複数回答) (%)

60 歳 以上	該当数	生活費を節約	貯蓄	子どもからの援助 (同居を含む)	自宅などの不動産 (処分のみならず、担保を含む)	財産収入 (家賃収入、地代、配当金、利子など)	その他	わからない	回答計
【総数】	514	67.5	51.0	30.0	14.4	10.7	1.8	4.3	179.6
〔都市規模〕									
大都市	101	66.3	56.4	25.7	14.9	21.8	2.0	1.0	188.1
中都市	208	67.3	53.8	26.0	12.0	9.1	2.4	6.3	176.9
小都市	144	66.7	45.8	39.6	13.9	6.9	0.7	4.2	177.8
町村	61	72.1	44.3	27.9	23.0	6.6	1.6	3.3	178.7
〔性別〕									
男性	287	68.3	47.7	29.3	16.7	10.8	2.4	3.8	179.1
女性	227	66.5	55.1	30.8	11.5	10.6	0.9	4.8	180.2
〔最長職業〕									
農林漁業 (家族従事者を含む)	52	61.5	30.8	51.9	21.2	15.4	1.9	-	182.7
自営業 (商工サービス業・自由業)	165	60.0	49.1	29.7	15.8	13.9	0.6	6.1	175.2
常勤の被雇用者	217	74.2	55.8	27.6	11.5	7.4	2.8	3.2	182.5
契約・派遣・臨時・パート	50	70.0	48.0	26.0	18.0	6.0	2.0	8.0	178.0
内職	4	75.0	50.0	50.0	-	-	-	-	175.0
仕事に就いたことはない	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	200.0
専業主婦 (夫)	21	66.7	61.9	4.8	9.5	19.0	-	4.8	166.7
その他	2	-	100.0	-	50.0	50.0	-	-	200.0
わからない	2	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	300.0
自営業者、家族従業者 (計)	217	60.4	44.7	35.0	17.1	14.3	0.9	4.6	177.0
被用者 (計)	271	73.4	54.2	27.7	12.5	7.0	2.6	4.1	181.5
無職 (計)	22	68.2	63.6	4.5	9.1	18.2	-	4.5	168.2
Q23 [現在の貯蓄額]									
100万円未満	61	67.2	23.0	31.1	9.8	1.6	1.6	8.2	142.6
100万円～200万円未満	30	70.0	36.7	36.7	6.7	13.3	3.3	6.7	173.3
200万円～300万円未満	35	74.3	57.1	31.4	22.9	8.6	2.9	5.7	202.9
300万円～500万円未満	39	69.2	59.0	46.2	17.9	7.7	-	-	200.0
500万円～700万円未満	37	81.1	37.8	21.6	16.2	5.4	2.7	2.7	167.6
700万円～1000万円未満	31	74.2	64.5	41.9	6.5	12.9	-	-	200.0
1000万円～2000万円未満	51	64.7	80.4	27.5	9.8	11.8	-	-	194.1
2000万円～3000万円未満	28	64.3	67.9	39.3	14.3	21.4	-	-	207.1
3000万円～5000万円未満	21	42.9	85.7	23.8	23.8	19.0	-	-	195.2
5000万円以上	15	46.7	73.3	6.7	13.3	26.7	-	-	166.7
貯蓄はない	50	70.0	14.0	44.0	26.0	2.0	8.0	10.0	174.0
わからない	116	66.4	55.2	18.1	12.1	14.7	0.9	6.0	173.3
300万円未満 (計) 貯蓄なし含む	176	69.9	29.5	35.8	16.5	5.1	4.0	8.0	168.8
300万円～1000万円未満 (計)	107	74.8	53.3	36.4	14.0	8.4	0.9	0.9	188.8
1000万円以上 (計)	115	58.3	77.4	27.0	13.9	17.4	-	-	193.9

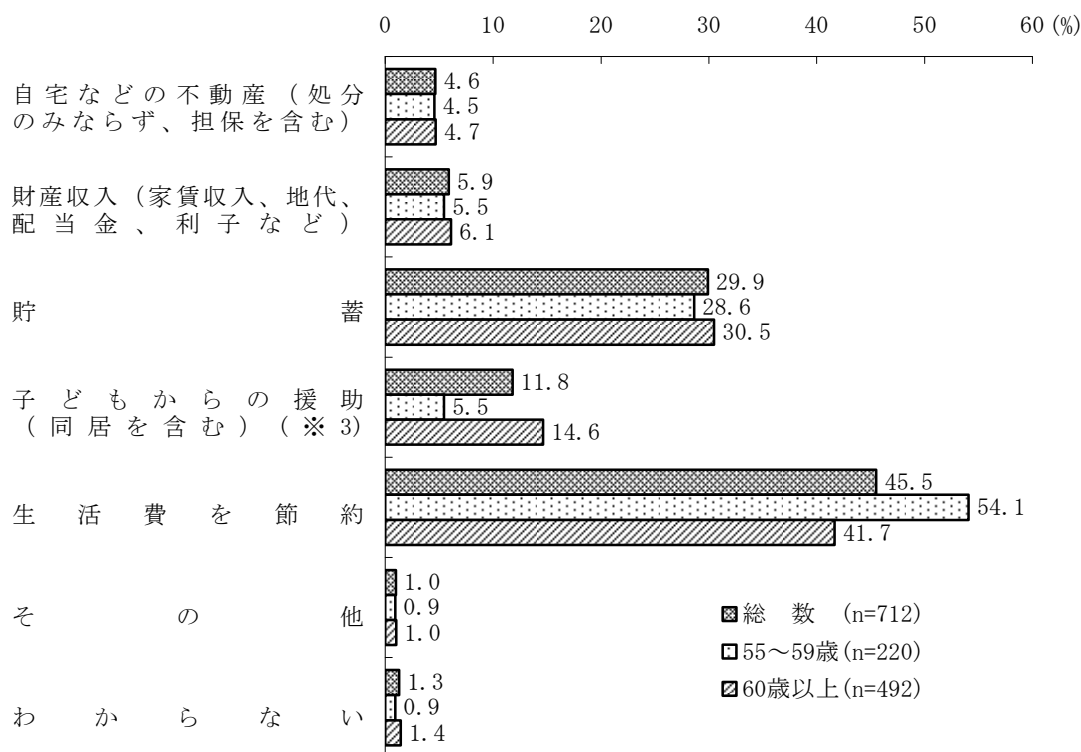
## (16) 生活費不足分の最も主要な対応方法(Q12SQ)

Q12 で毎月の生活費をまかなうのに年金では『足りないと思う(計)』と答えた人に、「生活費で足りない分をまかなう最も主要な対応方法は何か」尋ねてみると、総数、60歳以上では「生活費を節約」が総数で45.5%、60歳以上で41.7%と最も高く、以下、「貯蓄」が総数で29.9%、60歳以上で30.5%、「子どもからの援助(同居を含む)」が総数で11.8%、60歳以上で14.6%、「財産収入(家賃収入、地代、配当金、利子など)」が総数で5.9%、60歳以上で6.1%、「自宅などの不動産(処分のみならず、担保を含む)」が総数で4.6%、60歳以上で4.7%などの順になっている。

55～59歳でも「生活費を節約」が54.1%と最も高く、以下、「貯蓄」が28.6%、「子どもからの援助(同居を含む)」、「財産収入(家賃収入、地代、配当金、利子など)」がともに5.5%、「自宅などの不動産(処分のみならず、担保を含む)」が4.5%などの順になっている。

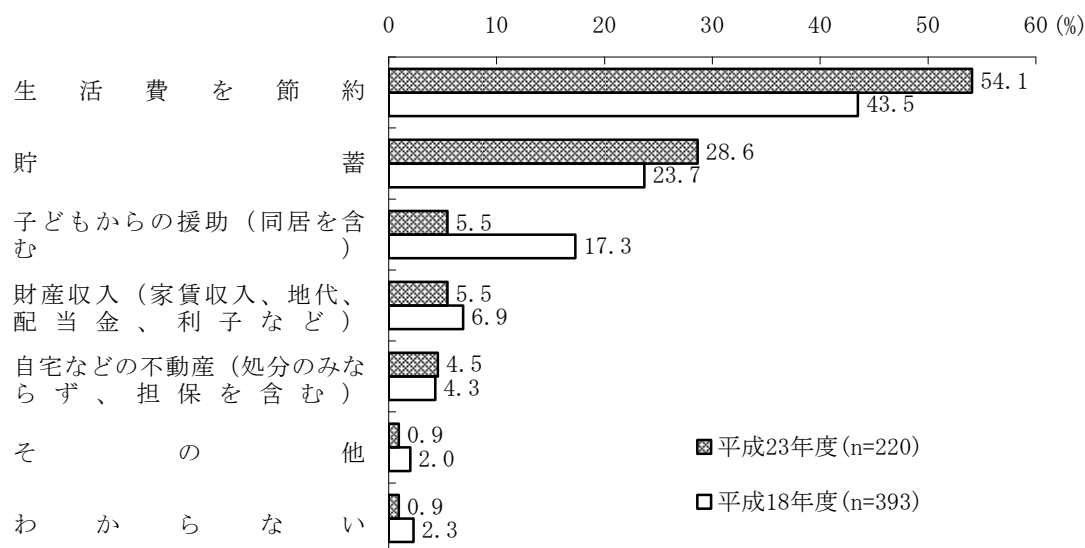
55～59歳、60歳以上を比較すると、項目の順位はほぼ等しいが、「生活費を節約」は60歳以上より55～59歳で12.4ポイント、「子どもからの援助(同居を含む)」は55～59歳より60歳以上で9.1ポイント、それぞれ高くなっている。

図2-16-1 生活費不足分の最も主要な対応方法(Q12SQ)



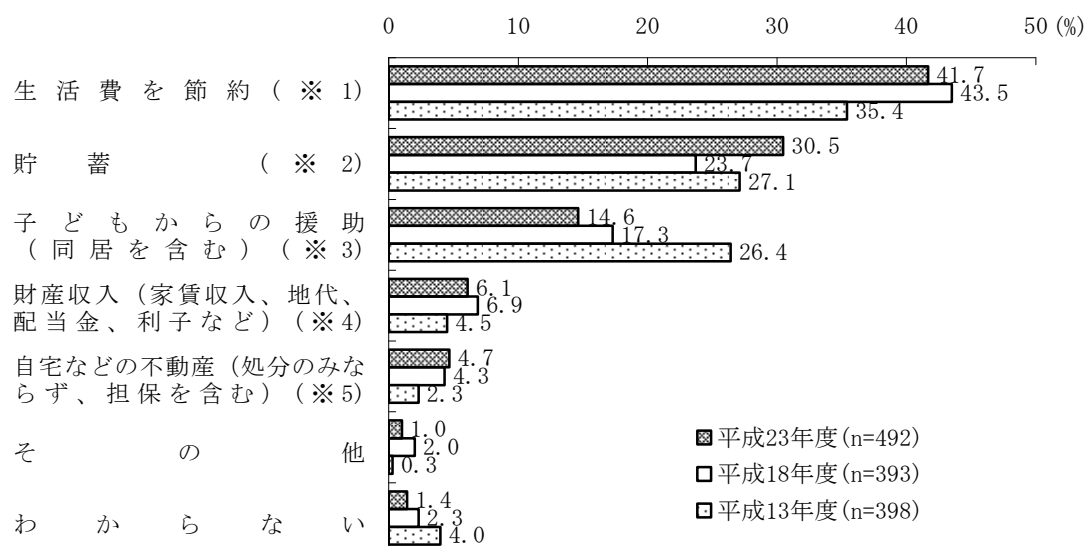
55～59 歳を前回調査と比較すると、「生活費を節約」が 10.6 ポイント、「貯蓄」が 4.9 ポイント割合が増加している。一方、「子どもからの援助(同居を含む)」は 11.8 ポイント割合が減少している。

図 2-16-2 生活費不足分の最も主要な対応方法 (Q12SQ) (前回比較、55～59 歳)



60 歳以上を時系列でみると、「生活費を節約」の割合は前回調査と大きな差はみられないが、「貯蓄」の割合は大きく増加している。一方、「子どもからの援助(同居を含む)」の割合の減少傾向が顕著である。

図 2-16-3 生活費不足分の最も主要な対応方法 (Q12SQ) (時系列比較、60 歳以上)



(注) (※1) 平成13年度は「生活費を節約して間に合わせる」

(注) (※2) 平成13年度は「貯蓄を取り崩してまかなう」

(注) (※3) 平成13年度は「子供と同居したり、子供に助けてもらう」

(注) (※4) 平成13年度は「財産収入 (家賃収入、地代、配当金、利子など) でまかなう」

(注) (※5) 平成13年度は「自宅などの不動産を処分したり、担保にして借りたりしてまかなう」

### 〈総数〉（表2-16-1）

都市規模別にみると「子どもからの援助(同居を含む)」は小都市(15.6%)で高く、「財産収入(家賃収入、地代、配当金、利子など)」は大都市(9.8%)で高くなっている。

性別でみると、あまり大きな差はみられない。

年齢別にみると、「生活費を節約」は年齢が低くなるほど、割合が高くなっている。一方、「子どもからの援助(同居を含む)」は80歳以上を除き、年齢が高くなるほど割合も高くなっている。

最長職業別では、「生活費を節約」は契約・派遣・臨時・パート(48.7%)、常勤の被雇用者(51.7%)で高くなっている。

現在の貯蓄額別では、「財産収入」、「貯蓄」は『1,000万円以上(計)』(順に10.6%、52.8%)で高く、「子どもからの援助」「生活費を節約」は『300万円未満(計)貯蓄なし含む』(順に16.5%、54.6%)で高くなっている。

### 〈55～59歳〉（表2-16-2）

都市規模別にみると、「生活費を節約」は都市規模が小さくなるほど割合が高くなっている。

性別にみると、「生活費を節約」は男性(50.5%)より女性(57.7%)で高くなっている。

最長職業別、現在の貯蓄額別では、該当数が少ないため、表の数値は参考値にとどめ、分析は控える。

### 〈60歳以上〉（表2-16-3）

都市規模別にみると、「子どもからの援助(同居を含む)」は小都市(20.3%)で高くなっている。

性別にみると、「貯蓄」(男性29.3%、女性31.9%)は男性より女性で高くなっている。

最長職業別では、常勤の被雇用者は「生活費を節約」(48.6%)が高く、「子どもからの援助(同居を含む)」(9.0%)で低くなっている。

現在の貯蓄額別では、「財産収入」、「貯蓄」は『1,000万円以上(計)』(順に12.2%、53.9%)で高くなっている。一方、「子どもからの援助」「生活費を節約」は『300万円未満(計)貯蓄なし含む』(順に19.8%、50.6%)で高く、『1,000万円以上(計)』(順に5.2%、23.5%)で低くなっている。

表2-16-1 生活費不足分の最も主要な対応方法(Q12SQ)

(%)

総数	該当数	自宅などの不動産 (処分のみならず、担保を含む)	財産収入 (家賃収入、地代、配当金、利子など)	貯蓄	子どもからの援助 (同居を含む)	生活費を節約	その他	わからない
【総数】	712	4.6	5.9	29.9	11.8	45.5	1.0	1.3
〔都市規模〕								
大都市	143	4.9	9.8	33.6	9.8	40.6	1.4	-
中都市	278	3.6	4.7	31.7	10.8	45.3	1.8	2.2
小都市	211	5.2	4.7	25.1	15.6	48.8	-	0.5
町村	80	6.3	6.3	30.0	8.8	46.3	-	2.5
〔性別〕								
男性	385	5.2	6.2	29.4	11.9	44.4	1.3	1.6
女性	327	4.0	5.5	30.6	11.6	46.8	0.6	0.9
〔年齢別〕								
55～59歳	220	4.5	5.5	28.6	5.5	54.1	0.9	0.9
60～64歳	241	5.0	6.2	33.6	7.1	45.2	1.7	1.2
65～69歳	129	3.9	4.7	28.7	17.8	42.6	-	2.3
70～74歳	79	5.1	7.6	26.6	25.3	35.4	-	-
75～79歳	33	6.1	6.1	27.3	30.3	30.3	-	-
80歳以上	10	-	10.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0
60歳以上(計)	492	4.7	6.1	30.5	14.6	41.7	1.0	1.4
〔最長職業〕								
農林漁業(家族従事者を含む)	64	7.8	7.8	17.2	31.3	34.4	-	1.6
自営業(商工サービス業・自由業)	201	8.0	10.0	26.9	16.4	36.8	0.5	1.5
常勤の被雇用者	329	2.4	3.6	32.8	6.7	51.7	1.5	1.2
契約・派遣・臨時・パート	76	5.3	3.9	31.6	9.2	48.7	-	1.3
内職	5	-	-	40.0	20.0	40.0	-	-
仕事に就いたことはない	1	-	-	-	-	100.0	-	-
専業主婦(夫)	31	-	6.5	35.5	-	54.8	3.2	-
その他	3	-	-	100.0	-	-	-	-
わからない	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-
自営業者、家族従業者(計)	265	7.9	9.4	24.5	20.0	36.2	0.4	1.5
被用者(計)	410	2.9	3.7	32.7	7.3	51.0	1.2	1.2
無職(計)	32	-	6.3	34.4	-	56.3	3.1	-
Q23〔現在の貯蓄額〕								
100万円未満	86	1.2	2.3	11.6	22.1	59.3	2.3	1.2
100万円～200万円未満	43	-	4.7	18.6	16.3	55.8	2.3	2.3
200万円～300万円未満	55	1.8	5.5	32.7	10.9	47.3	1.8	-
300万円～500万円未満	63	6.3	3.2	23.8	15.9	47.6	-	3.2
500万円～700万円未満	49	4.1	6.1	24.5	10.2	53.1	2.0	-
700万円～1000万円未満	46	2.2	2.2	39.1	8.7	45.7	-	2.2
1000万円～2000万円未満	76	6.6	5.3	59.2	2.6	23.7	-	2.6
2000万円～3000万円未満	37	-	16.2	29.7	5.4	45.9	-	2.7
3000万円～5000万円未満	27	3.7	7.4	66.7	7.4	14.8	-	-
5000万円以上	21	4.8	23.8	52.4	4.8	14.3	-	-
貯蓄はない	65	15.4	4.6	9.2	13.8	53.8	3.1	-
わからない	144	4.9	6.3	28.5	11.8	47.9	-	0.7
300万円未満(計)貯蓄なし含む	249	4.8	4.0	16.9	16.5	54.6	2.4	0.8
300万円～1000万円未満(計)	158	4.4	3.8	28.5	12.0	48.7	0.6	1.9
1000万円以上(計)	161	4.3	10.6	52.8	4.3	26.1	-	1.9

表2-16-2 生活費不足分の最も主要な対応方法(Q12SQ) (%)

55 ~ 59 歳	該当数	自宅などの不動産(処分のみならず、担保を含む)	財産収入(家賃収入、地代、配当金、利子など)	貯蓄	子どもからの援助(同居を含む)	生活費を節約	その他	わからない
【総数】	220	4.5	5.5	28.6	5.5	54.1	0.9	0.9
〔都市規模〕								
大都市	43	7.0	9.3	30.2	4.7	46.5	2.3	-
中都市	83	6.0	2.4	32.5	4.8	51.8	1.2	1.2
小都市	73	2.7	6.8	23.3	6.8	58.9	-	1.4
町村	21	-	4.8	28.6	4.8	61.9	-	-
〔性別〕								
男性	109	5.5	6.4	29.4	6.4	50.5	0.9	0.9
女性	111	3.6	4.5	27.9	4.5	57.7	0.9	0.9
〔最長職業〕								
農林漁業(家族従事者を含む)	12	8.3	-	16.7	8.3	66.7	-	-
自営業(商工サービス業・自由業)	46	10.9	8.7	26.1	13.0	41.3	-	-
常勤の被雇用者	119	3.4	5.9	29.4	2.5	57.1	0.8	0.8
契約・派遣・臨時・パート	30	-	3.3	30.0	6.7	56.7	-	3.3
内職	1	-	-	100.0	-	-	-	-
仕事に就いたことはない	-	-	-	-	-	-	-	-
専業主婦(夫)	11	-	-	27.3	-	63.6	9.1	-
その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-
わからない	-	-	-	-	-	-	-	-
自営業者、家族従業者(計)	58	10.3	6.9	24.1	12.1	46.6	-	-
被用者(計)	150	2.7	5.3	30.0	3.3	56.7	0.7	1.3
無職(計)	11	-	-	27.3	-	63.6	9.1	-
Q23〔現在の貯蓄額〕								
100万円未満	30	-	3.3	10.0	20.0	63.3	3.3	-
100万円～200万円未満	15	-	-	6.7	6.7	80.0	-	6.7
200万円～300万円未満	22	-	4.5	36.4	9.1	50.0	-	-
300万円～500万円未満	24	8.3	4.2	20.8	-	66.7	-	-
500万円～700万円未満	13	7.7	7.7	38.5	-	38.5	7.7	-
700万円～1000万円未満	15	-	-	33.3	6.7	60.0	-	-
1000万円～2000万円未満	25	8.0	-	52.0	4.0	36.0	-	-
2000万円～3000万円未満	9	-	11.1	33.3	-	55.6	-	-
3000万円～5000万円未満	6	16.7	16.7	66.7	-	-	-	-
5000万円以上	6	16.7	16.7	50.0	-	16.7	-	-
貯蓄はない	20	10.0	10.0	20.0	-	60.0	-	-
わからない	35	2.9	8.6	25.7	2.9	57.1	-	2.9
300万円未満(計)貯蓄なし含む	87	2.3	4.6	18.4	10.3	62.1	1.1	1.1
300万円～1000万円未満(計)	52	5.8	3.8	28.8	1.9	57.7	1.9	-
1000万円以上(計)	46	8.7	6.5	50.0	2.2	32.6	-	-

表2-16-3 生活費不足分の最も主要な対応方法(Q12SQ) (%)

60 歳 以 上	該当数	自宅などの不動産(処分のみならず、担保を含む)	財産収入(家賃収入、地代、配当金、利子など)	貯蓄	子どもからの援助(同居を含む)	生活費を節約	その他	わからない
【総数】	492	4.7	6.1	30.5	14.6	41.7	1.0	1.4
〔都市規模〕								
大都市	100	4.0	10.0	35.0	12.0	38.0	1.0	-
中都市	195	2.6	5.6	31.3	13.3	42.6	2.1	2.6
小都市	138	6.5	3.6	26.1	20.3	43.5	-	-
町村	59	8.5	6.8	30.5	10.2	40.7	-	3.4
〔性別〕								
男性	276	5.1	6.2	29.3	14.1	42.0	1.4	1.8
女性	216	4.2	6.0	31.9	15.3	41.2	0.5	0.9
〔最長職業〕								
農林漁業(家族従事者を含む)	52	7.7	9.6	17.3	36.5	26.9	-	1.9
自営業(商工サービス業・自由業)	155	7.1	10.3	27.1	17.4	35.5	0.6	1.9
常勤の被雇用者	210	1.9	2.4	34.8	9.0	48.6	1.9	1.4
契約・派遣・臨時・パート	46	8.7	4.3	32.6	10.9	43.5	-	-
内職	4	-	-	25.0	25.0	50.0	-	-
仕事に就いたことはない	1	-	-	-	-	100.0	-	-
専業主婦(夫)	20	-	10.0	40.0	-	50.0	-	-
その他	2	-	-	100.0	-	-	-	-
わからない	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-
自営業者、家族従業者(計)	207	7.2	10.1	24.6	22.2	33.3	0.5	1.9
被用者(計)	260	3.1	2.7	34.2	9.6	47.7	1.5	1.2
無職(計)	21	-	9.5	38.1	-	52.4	-	-
Q23〔現在の貯蓄額〕								
100万円未満	56	1.8	1.8	12.5	23.2	57.1	1.8	1.8
100万円～200万円未満	28	-	7.1	25.0	21.4	42.9	3.6	-
200万円～300万円未満	33	3.0	6.1	30.3	12.1	45.5	3.0	-
300万円～500万円未満	39	5.1	2.6	25.6	25.6	35.9	-	5.1
500万円～700万円未満	36	2.8	5.6	19.4	13.9	58.3	-	-
700万円～1000万円未満	31	3.2	3.2	41.9	9.7	38.7	-	3.2
1000万円～2000万円未満	51	5.9	7.8	62.7	2.0	17.6	-	3.9
2000万円～3000万円未満	28	-	17.9	28.6	7.1	42.9	-	3.6
3000万円～5000万円未満	21	-	4.8	66.7	9.5	19.0	-	-
5000万円以上	15	-	26.7	53.3	6.7	13.3	-	-
貯蓄はない	45	17.8	2.2	4.4	20.0	51.1	4.4	-
わからない	109	5.5	5.5	29.4	14.7	45.0	-	-
300万円未満(計)貯蓄なし含む	162	6.2	3.7	16.0	19.8	50.6	3.1	0.6
300万円～1000万円未満(計)	106	3.8	3.8	28.3	17.0	44.3	-	2.8
1000万円以上(計)	115	2.6	12.2	53.9	5.2	23.5	-	2.6